

中国関係論説資料

第六十六号「二〇二四年度（令和六年度）分」

収録論文一覧

第一分冊（哲学・宗教・文化）上

愛知大学人文社会学研究所 一六一（一〇・四・三）	文学論叢	伏生授經圖受容の研究 — 装丁・鑑藏印作爲篇 —	木島史雄	1
愛知大学人文社会学研究所 一六一（一〇・五・三）	文学論叢	王鐸「臨書」の典故と変奏 — 復元から「偏差」へ —	木島史雄	20
愛知大学体育学論叢 二〇二（五・三）	三二	日本の甲子園大会を目指した「中国信託杯2024年全国青少年野球リーグ」は中国の青少年野球的普及と人材育成を可能とするのか。	松岡弘記 樊兆孟 陳麗	40
愛知学院大学 二〇四（四・三）	禅研究所紀要 五一	『釈禪波羅蜜次第法門』における有漏禪について	大松久規	一
愛知学院大学 二〇五（五・三）	禅研究所紀要 五三	華嚴から密教、そして禅へ	吉田勲禮	二三
愛知県立大学大学院国際文化研究科論叢 二五（一〇・四・三）	中国における鬼のイメージに関する一考察 — 重慶市の豊都鬼城を事例に —	李江龍	川尻文彦	51 二四
愛知県立大学大学院国際文化研究科論叢 二六（一〇・五・三）	毛沢東が読んだ三冊の社会主義書籍の思想史	『太上洞玄靈寶真一勸誡法輪妙經』訳注ノート	水野光 阿部一 大野敏	七〇
アジアの文化と思想の会 論叢 アジアの文化と思想 三二（一〇・三・一）	『論語私存』訳注（十四）		水野光 阿部一 大野敏	七〇
アジアの文化と思想の会 論叢 アジアの文化と思想 三二（一〇・四・一）	『上蔡語録』卷上訳注（三）		原信太郎 レシヤンドレ	九三
アジアの文化と思想の会 論叢 アジアの文化と思想 三二（一〇・四・二）	『朱子語類』卷四十四訳注（六・完）		中嶋謙 渡邊賢 原信太郎 レシヤンドレ	一一〇
アジアの文化と思想の会 論叢 アジアの文化と思想 三二（一〇・四・二）	『論語私存』訳注（十五） 完		水野光 阿部一 大野敏	二四六
岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集 二七（一〇・五・三）	「即」義覚書 — 浄影寺慧遠『大乘義章』を材料に —		高野淳一	61

追手門学院大学文学紀要 三 (二〇一五・三)	越境與傳播 — 試比較中日「磨針」傳説之異同 —	李 慶 國	65
大分大学経済論集 七五・五・六 (二〇一四・三)	中国の方言景觀と方言みかげ — 歴史・地理・経済 —	井 包 上 史 聯 群	74
大阪大学大学院文学研究科・文学部 懷徳堂研究センター 懷徳堂研究 一六 (二〇一五・一)	『礼記』中庸篇の「白刃可蹈也」をめぐる	井 上 了	一六九
大阪大学大学院文学研究科・文学部 懷徳堂研究センター 懷徳堂研究 一六 (二〇一五・一)	『論語集注』の思惟 — 眞字を巡って —	安 本 博	一七七
大手前大学論集 一三三 (二〇一三・七)	中国の博物館における食文化の展示をめぐる一考 察 — 民営の博物館を中心に —	石 田 曜 亜 張 松 桼	100
岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 五八 (二〇一四・一二)	『論語集注』(朱熹撰)の日本語訳(述而第七 篇(上)) — 『論語集注』を主とする朱子の『論語』解釈 —	孫 路 易	一八七
お茶の水女子大学中国文学会報 四三 (二〇一四・四)	中国の大学入試に関する「校园标语」の考察	保 坂 雲 輝 子	110
香川大学国文研究 四九 (二〇一四・九)	錢瘦鉄の篆刻	郭 雲 輝 子	110
学習院大学人文科学研究所 人文 二二 (二〇一四・三)	禅文化の文人文化に対する芸術表現上の影響 — 北宋後期の文人画における主客関係に関する一 試論 —	小 西 憲 一	一九六
活水女子大学 活水論文集 六七 (二〇一四・三)	陽明門下王龍溪の良知現成論と頓悟漸修論の考察 — 王龍溪・張陽和・孟我疆・鄒南阜を軸にして —	荒 木 龍 太 郎	二〇一
関西大学 東西学術研究所紀要 五七 (二〇一四・七)	東南アジアにおける祖師信仰	二 階 堂 善 弘	130
関西大学大学院 東アジア文化交渉研究 一七 (二〇一四・三)	朱子学再考 — 「公」の思想をめぐる	吾 妻 重 二	138
関西外国語大学 研究論集 一一八 (二〇一三・九)	可能性を表す「会」の教授法について — 中国語初級学習者を中心に —	安 田 真 穂 籠 谷 香 理 穂 趙 天 鴻	155
北九州市立大学大学院紀要 三七 (二〇一四・三)	荀子と董仲舒の儒学	宋 趙 籠 谷 天 鴻	164
岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 七二一 (二〇一三)	『管子』の農業思想について	李 峻 嶺 張 一 星 — 訳 —	164
汲古書院 汲古 八六 (二〇一四・二)	道德教育の評価に関する国際比較研究 — 日本、 中国、国際バカロレア(IBC)に着目して —	于 森	173
汲古書院 汲古 八六 (二〇一四・二)	梁啓超と河上肇 — 経済学と社会主義をめぐる両 者の「接点」を探る —	張 松 桼 柳 沼 良 太 溪 川 尻 文 彦	191
汲古書院 汲古 八六 (二〇一四・二)	『朱子語類』巻二十一訳注(九)	垣 内 景 子 (宋 明 研 究 会)	二二三
京都大学 SOUTHEAST ASIAN STUDIES 111-117 (二〇一三・二)	How to Frame Hybrid-Syncretic Religious Situations: Based on a Case Study of the Guanyin Cult in Yunnan, China	Nagatani Chiyo-ko	196
京都大学大学院 京都社会学年報 三二 (二〇一三・一二)	子ども教育期における新中間階層の母親業 — 上海市と南京市の女性を対象として —	張 紫 萱	215

京都大学大学院 人間・環境学 三二 (二〇一三・一一)	台湾映画『海角七号』(2008)の《野ばら》に見る「融和」 — ライトモチーフに示される非優位的日本表象 —	原口直希	227
杏林大学 外国語学部紀要 三七 (二〇一五・三)	「中国文字改革視察芸術代表団」訪中旅行(1960年春)が土岐善麿にもたらした影響 — 国語審議会会長として、杜甫研究者として、そして歌人として —	河路由佳	235
近畿大学短大論集 五六— (二〇一三・一一)	『続茶経』試訳(其七)	田中美佐	二二七
金城学院大学論集 人文科学編 二二— (二〇一五・三)	「崑崙奴」考 — 図像に見る日中知見の異同 —	張小鋼	二二六
熊本県立大学大学院 文学研究科論集 一七 (二〇一四・一二)	『玄天上帝説報父母恩重經』を巡る諸問題 — 「始相」の語を中心に —	山田俊	二五〇
慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要 社会学心理学教育学 人間と社会の探究 九七 (二〇一四・九)	中国広東省梅州市における香花仏教の民族誌 — 生業、民間信仰、仏教空間とオーラル・ヒストリー —	ケイ光大	246
高野山大学論叢 六〇 (二〇一五・三)	書字の視点より女婁訳「般若波羅蜜多心經」を考察する(一) — 唐宋心経の語句・文字の異同から伝搬経緯を探る —	野田悟	二六一
國學院大學 國學院雜誌 一二五— (二〇一四・五)	中国青海省西寧市周辺農村における漢民族の喪服習俗	李生智	258
國學院大學大学院紀要 文学研究科 五五 (二〇一四・一)	劉知幾系属攷 — 六朝期彭城劉氏の学問を中心として —	名越健人	二七五
國學院大學大学院 東アジア文化研究 八 (二〇一三・一)	劉知幾の『春秋』観について — 「史通」申左・惑経一篇を中心として —	名越健人	267
國學院大學大学院 東アジア文化研究 八 (二〇一三・一)	中国青海省の漢民族の婚礼と葬礼 — 西寧市周辺の農村部の事例から —	李生智	277
國際仏教大学院大学研究紀要 二八 (二〇一四・三)	『統高僧伝』「僧尼伝」の特質 — 「弘贊法華伝」との比較を通して —	池麗梅	287
國際仏教大学院大学研究紀要 二八 (二〇一四・三)	Liceti and the <i>Maṇipravāṇa-mahāsūtra</i> 大般涅槃經 in the Tang dynasty Wei Shen's 韋諲 <i>Zhū Dabān niépán jīng</i> 注大般涅槃經	AOKI Chinlin	304
国士館大学二一世紀アジア学会 二二世紀 紀アジア学研究 一三三 (二〇一五・三)	台湾に見る移住の多元的現実 — 民族誌的点描	土佐昌樹	313
駒澤大学禪研究所年報 三六 (二〇一四・一二)	「楞嚴不見」の話について	石井修道	二八七
駒澤大学禪研究所年報 三六 (二〇一四・一二)	『大慧普覺禪師宗門武庫』訳注稿(4)	張小川 ダイディエ・ ダヴァン	327
駒澤大學禪研究所年報 特別号 (二〇一五・三)	唐宋禪思想史と日本の禪 — 鈴木大拙と石井修道の視点を借りて —	小川隆	352
駒澤大學佛教學部研究紀要 八三 (二〇一五・三)	源信『顕要記破文』から「経論疑問」、そして『一乗要決』へ	村上明也	三三〇
駒澤大学佛教學部論集 五四 (二〇一三・一〇)	サンスクリット語から中国語へ、そして再びサンスクリット語へ…… <i>Yogācārabhūmi</i> およびその関連論書の玄奘訳に関する所見	マルティン・ デルハイ 藤代本庸 ／ 訳舞裕	366

駒澤大学佛教文学研究 二七	雪竇山の牧庵行持	佐藤 秀孝 三三〇
（二〇・四・二）	―大慧宗杲・宏智正覺と滑稽に渡り合う―	
駒沢大学大学院仏教学研究会年報 五六	略本『従容録』研究ノート（二）	中野 智教 三七一
（二〇・三・五）		
駒沢大学大学院仏教学研究会年報 五七	略本『従容録』研究ノート（二）	中野 智教 三八一
（二〇・四・五）	―連山交易との関連性に着目して―	

第一分冊 (哲学・宗教・文化) 下

埼玉大学国語教育論叢 二六 (二〇・三・一〇)	「器」の本懐——『大史公書』(『史記』)における 「子真遊説説話」の採録に着目して	新妻 千紘	一
就実大学史学論集 三九 (二〇・五・三)	『成唯識論述記』訳注(七)	曾根 正人	一〇
城西国際大学紀要 二三四 メディア 学部 (二〇・五・二)	中国の現代美術における方法と目的についての考 察——「キュレーション」とアーティスト、双方の視 点からの考察——	松原 直比古	1
上智大学コミュニケーション学会 コミュニケーション研究 五四 (二〇・四・三)	科学報道とイデオロギーの接点…「科学」対「立 場」の議論	劉 茜 懿	7
信州大学人文科学論集 一一 (二〇・三・九)	陽明後学の研究——回顧と展望	王 昕 珣	15
成城大学 成城文藝 二六五 (二〇・四・九)	唐の四大家考	呉 震	二四
星城大学研究紀要 二四 (二〇・四・三)	中国語履修者がもつ中国に対するイメージ ——2009年度～2013年度の調査から——	藤 森 大 雅	21
星城大学研究紀要 二五 (二〇・五・三)	中国語履修者がもつ中国に対するイメージ ——2014年度～2018年度の調査から——	日下部 直 美	25
専修大学文学部 専修人文論集 一一四 (二〇・四・三)	『西天仏説八万大藏経目錄』について ——『西遊記』から素材を得た朝鮮伝承偽経——	日下部 直 美	29
創価大学人間学会 創価人間学論集 一八 (二〇・四・二)	鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』における「涅槃」と 「滅度」(三)	佐 藤 厚	三二
創価大学人間学会 創価人間学論集 一九 (二〇・五・三)	『大般涅槃経集解』卷第三十一～七十一までの校 勘	前 川 健 一	34
大正大学研究紀要 二〇 (二〇・五・三)	北魏摩訶の研究の変遷	菅 野 玉 博 史	四一
大正大学研究紀要 二〇 (二〇・五・三)	明治初頭における中国仏教通史の濫觴	楊 秀 雄	42
大正大学新郊北文学大会 鴨臺國文敷 四 (二〇・四・九)	『體源鈔』秘説記事小考 ——「万秋楽相伝」を中心に——	佐 藤 裕 亮	五五
大東文化大学 教職課程センター紀要 九 (二〇・四・二)	中国書論における「鑑」について ——鑑賞と比較して——	由 井 恭 子	六〇
大東文化大学紀要 六三 人文科学 (二〇・五・二)	進化し続けた『良友』画報——雑誌を通して見る 近代中国都市社会の羞恥心の低下(中編)	藤 森 大 雅	53
大東文化大学書道研究所 大東書道研究 三二 (二〇・五・二)	西周康王期銘文考I ——布置法と大盂鼎銘の特殊性を中心に——	山 内 智 恵 美	六五
大東文化大学書道研究所 大東書道研究 三二 (二〇・五・二)	飛白小考——漢の帛面を手掛かりとして——	角 田 健 一	七七
大東文化大学大学院書道学専攻 書道学 論集 二二 (二〇・四・三)	戦国燕系官璽布字の特徴 釈『原道』——《道》の含意(二)	大 橋 修 一	62
		栗 躍 崇	70
		河 内 利 監 治	
		梁 田 開 印	
		村 松 景 一	
		尹 慶 碩	
		馮 明 一	

大東文化大学院書道学専攻 書道学
論集 二二 (二〇一四・三)

葉朗著『中国美学史大綱』第23章 梁啓超の美学
第四節(第六節) 訳注

6

拓殖大学国際日本文化研究 八 (二〇一五・三)	王 敏	八六
千葉大学ユーラシア言語文化論集 二五 (二〇一三・一二)	サラングワ	82
千葉商科大学国府台学会 千葉商大論叢 六一・三 (二〇一五・三)	趙 軍	92
中央大学人文科学研究 人文研紀要 一〇五 (二〇一三・九)	彭 浩	100
中央大学人文科学研究 人文研紀要 一〇八 (二〇一四・九)	山 本 明	119
中央大学文学部紀要 哲学 六七 (二〇一五・三)	水上 雅 晴	一〇六
中央学院大学現代教養論叢 七一 (二〇一四・九)	渋谷 由 紀	135
筑波大学 書芸術研究 一八 (二〇一五・三)	菅 野 智 明	一一八
津田塾大学数学・計算機科学研究所報 四六 (二〇一五・三)	田 村 誠	149
津田塾大学数学・計算機科学研究所報 四六 (二〇一五・三)	宮 田 義 美	154
天台学会 天台学報 六四 (二〇一三・一〇)	木 村 周 誠	一二六
天台学会 天台学報 六五 (二〇一三・一〇)	木 村 周 誠	一二四
天台学会 天台学報 六五 (二〇一三・一〇)	木 内 堯 大	一二九
天台学会 天台学報 六六 (二〇一四・一〇)	弓 場 苗 生 子	一四四
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八四 (二〇一四・一)	小 寺 敦	166
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八五 (二〇一四・一二)	小 寺 敦	187
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八六 (二〇一四・一二)	渡 邊 義 浩	一四九
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八六 (二〇一四・一二)	永 富 青 地	199
東京大学東洋文化研究所 東洋文化 一〇五 (二〇一五・三)	Justin R. Ritzinger	230
日本文化の基盤と禹王信仰・禹王文化	王 敏	八六
祭祀儀礼にみる変容とその背景 ―内モンゴル・ホルチンの事例から―	薩 摩 万 祐 敏	八六
「王道」か「人文東洋主義」か ―孫文と遠藤隆 吉の近代的東洋文明構築に関する模索―	趙 軍	92
伝統文化における中国絵画の美 ―茶掛の宋元画を中心に―	彭 浩	100
莫毅論(3) ―ポスト・「紀実撮影」(中国ドキュ メンタリー・フォトグラフィ)におけるタイポロ ジー・フォトグラフィの位相―	山 本 明	119
戴震の初期思想と宋学との距離 ―《経考》と《経考附録》に着目した考察―	水上 雅 晴	一〇六
『荀子』性悪説の理由―人の「性」と社会―	渋谷 由 紀	135
銭玄同の「写経体」にみる字と書の交点	菅 野 智 明	一一八
北京大学蔵秦簡牘中の算術書について	田 村 誠	149
非西欧の算術の起源 古代中国の数学書は「度量 衡」から生まれた	宮 田 義 美	154
三軌と三諦二観	木 村 周 誠	一二六
法華経と不思議境	木 村 周 誠	一二四
「一心三観、伝於一言」の展開 ―恵心流の境智一言と天真独朗一言	木 内 堯 大	一二九
仁岳「止疑書」における理毒性悪の議論について	弓 場 苗 生 子	一四四
清華簡『天下之道』譯注	小 寺 敦	166
清華簡『虞夏殷周之治』譯注	小 寺 敦	187
『詩經』解釈の展開と斷章取義	渡 邊 義 浩	一四九
『王陽明先生経説弟子記』と胡泉の陽明学研究	永 富 青 地	199
Journey to the West: Taixu's 1928-1929 World Tour as Cultural Diplomacy	Justin R. Ritzinger	230

東京大学東洋文化研究所 東洋文化 一〇五 (一〇・五・二二)	国族、佛教と无我：圓瑛法師在战时的蒙难始末与 政治立場	邵 佳 德	239
東京大学東洋文化研究所 東洋文化 一〇五 (一〇・五・二二)	中国仏教へのまなざし —鈴木大拙の二種の『支那仏教印象記』	陳 繼 東	248
東京学芸大学紀要 機構 七五 (一〇・四・一)	孔子の生きた時代と『論語』における「自由」(試 論、—教育哲学の新潮流と実証主義歴史学との再 考から—)	下 田 誠	259
東京学芸大学国語国文学会 学会国語国 文学 五七 (一〇・五・二二)	王叔「将略論」と杜牧「注孫子序」について	高 橋 未 来	二六八
東京経済大学経済学会 東京経済大学誌 経済学 三三 (一〇・四・一)	Achieving Sustainable Cultural Heritage: A Comparative Analysis of the Conservation of the Dazhai Heritage Group in Fukuoka Prefecture, Japan and the Wenshan Bronze-drum Dance Demonstration Sites in Yunnan Province, China	Xiaoxia TAN Huanzhen LUO	267
東京都立大学 人文学報 五〇・二 (一〇・四・三)	屠畜は(改革)されるべきなのか —近現代中国の屠場における回民の伝統習俗—	澤 井 充 生	275
東京都立大学 人文学報 五〇・二 (一〇・四・三)	安徽蕭縣聖村M1画像石墓の構造と神話	佐々木 睦	287
東北大学大学院 国際文化研究 三二 (一〇・五・二)	近代中国における良妻賢母の認識について—文 化受容の観点からのアプローチを中心として—	張楊 蕊妍	303
東洋大学東洋学研究所 東洋学研究 六一 (一〇・四・三)	荷澤宗による「東土六祖」の碑文の創成	伊 吹 敦	311
東洋大学東洋学研究所 東洋学研究 六一 (一〇・五・三)	王陽明の「楽」説 —「情・『礼記』楽記篇・幸福論—	志 村 敦 弘	二七四
東洋大学東洋学研究所 東洋学研究 六一 (一〇・五・三)	『華嚴五教章』のテキスト論と澄観の問題 …論点の整理と展望	佐 藤 厚	327
東洋大学東洋学研究所 東洋学研究 六一 (一〇・五・三)	『頓悟入道要門論』の成立と傳承 —荷澤宗慧堅 派による編輯・増廣と大珠慧海への假託—	伊 吹 敦	335
東洋大学東洋学研究所 東アジア仏教学 術論集 二二 (一〇・四・二)	『維摩經玄疏』巻第二における三観と天台思想	菅 野 博 史	350
東洋大学東洋学研究所 東アジア仏教学 術論集 二二 (一〇・四・二)	中韓初期弥勒信仰の形態的相似性 —天台智顗の 僧団における弥勒信仰の実践を端緒として—	張 雪 松 弓 場 苗 子 ／ 訳 著	364
東洋大学 東洋思想文化 一一 (一〇・四・三)	三たび『曹溪大師傳』の成立を論ず	伊 吹 敦	380
東洋大学 東洋思想文化 一一 (一〇・五・三)	東アジアにおける夢売買について	白 井 順	一八六
徳島大学 人間社会文化研究 三三 (一〇・四・二)	嘉靖大礼議における継承解釈の転換 —継承関係と父子関係の分離をめぐって	新 田 元 規	399
獨協大学 マテシス・ユニヴェルサリス 二六・二 (一〇・五・三)	寿壺『華嚴五教章指事』の中に言及される『五教 章』異本	佐 藤 厚	438
長崎大学 多文化社会研究 一一 (一〇・五・二)	中国传统音乐南音在海外的传承	王 維	445
名古屋学院大学論集 言語・文化篇 三六・二 (一〇・五・三)	日本の書道と中国の書法 —その源流と発展—	黄 学 名 陳 超 時	459
名古屋学院大学大学院 人間文化研究 四二 (一〇・四・七)	台湾の童軍と道德教育	山 田 美 香	463
鳴門教育大学研究紀要 三九 (一〇・四・二)	漢籍における地理と地利 —主として唐以前—	立 岡 裕 士	472

新潟大学書道研究会 書叢 三七 (二〇一五・三)	吳昌碩の《艸率》印と潤格について	角田勝久 二〇一
新潟大学大学院 現代社会文化研究 七九 (二〇一四・一)	宗趣論から見る澄観の法界義 ―澄観と法蔵の対比を中心に―	吳 鳴 507
新潟大学大学院 比較宗教思想研究 二五 (二〇一五・三)	張九成小考 ―大慧禪との出会い―	中西久味 二〇三
二松学舎大学人文論叢 一一一 (二〇一三・一〇)	程顥思想における「物」 ―仏教との関わりを導きとして―	大森 幹 太 二二三
二松学舎大学人文論叢 一一三 (二〇一四・一〇)	玲瓏山館叢刻本『稽璫』翻刻・校注(四) ―玉馬・金車・吉利・山車・富貴(璫璫・珊瑚・ 繁封・白鶯・鷄趨・丹甌・玉甕・蒿柱・周匝・鸚 雛・鸞鸞)	松浦龍史 二三五 齋藤 玲 子 山下崎 藍

第一分冊（哲学・宗教・文化） 増刊

二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 五五 (二〇一五・三)	張懷瓘における主義之観 — 庾肩吾・李嗣真の評価を補助線に —	関 俊 史	一
二松学舎大学東アジア学術総合研究所陽明学研究センター 陽明学 三四 (二〇一四・三)	慶應義塾図書館所蔵大塩中斎批注『標註伝習録』について	永 富 青 地	二
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	天台智願における理と事の構造	木 村 周 誠	二七
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	天台教学における二鳥俱遊について	日 比 宣 仁	三一
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	「初期無量寿経」の原典は何か？ — 菩薩思想と往生思想を中心に —	肖 越	1
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	About the “Small Characters in Two Lines” Form of <i>Yiqiejingyiyi</i>	Li Naqi	4
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	『観音玄義』における釈迦と弥勒の同時発心・共超劫説について	日 比 宣 仁	三四
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	法相唯識における『法華経』譬喩品の「衣鉢几案」解釈	武 本 宗 一 郎	三七
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	荷澤宗としての神照・宗密の正統性 — 胡適の主張の問題点と南印傳の再構成 —	伊 吹 敦	7
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	『往生論註』における上品生と下品下生の説示意義	遠 山 信 証	三九
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	吉藏『浄名玄論』における淨穢の議論	工 藤 量 導	四三
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	中国唯識における瑜伽行の受容について — 玄奘訳『解深密経』分別瑜伽品を中心に —	吉 村 誠	四六
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	円珍撰『観音賢菩薩行法経記』における引用文献について	萩 野 翔 太	五〇
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	華嚴六祖についての検討	平 燕 紅	11
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	3つの康僧会伝	伊 藤 千 賀 子	14
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	Origin of the Term <i>taizang</i> 胎藏 (jp. <i>taizō</i> , womb): With a Focus on Amoghavajra's 不空 Translations	Li Zijie	18
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	龍谷大学図書館所蔵『観心辨異』の検出について	道 元 徹 心	五二
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	中国南北朝期における意生身問題の一考察	魏 藝	五八
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	涅槃宗の学匠による『涅槃経』の戒受容 — 中国南北朝期における釈解を中心に —	日 比 宣 仁	六一
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	『念仏三昧宝王論』の諸行観	加 藤 弘 孝	六四
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	禅観と止観とのあわい	大 松 久 規	六八
日本印度学仏教学会 七〇・一 (二〇一二・三)	継承される「唐決」 — 恵心僧都源信を中心として —	村 上 明 也	七一

日本印度学仏教学会 印度學佛敎學研究 七二・一 (一〇・三・一一)	『宗鏡録』と「宗教」の語	柳 幹 康	21
日本印度学仏教学会 印度學佛敎學研究 七二・一 (一〇・三・一一)	再び『金剛經解義』の成立を論ず	伊 吹 敦	24
日本印度学仏教学会 印度學佛敎學研究 七二・一 (一〇・三・一一)	「禪衆」から「禪宗」へ——中国禪宗の成立——	石 井 公 成	28
日本印度学仏教学会 印度學佛敎學研究 七二・一 (一〇・三・一一)	唐初「二乗」解釈における『勝鬘經』の位置付け	楊 玉 飛	32
日本印度学仏教学会 印度學佛敎學研究 七二・一 (一〇・三・一一)	『大般涅槃經集解』における空・有・中道の問題	菅 野 博 史	36
日本女子大学紀要 人間社会学部・国際 文化学部 三五 (一〇・五・三)	『冥報記』における三階教説話の考察	三 田 明 弘	七四
日本女子大学紀要 人間社会学部・国際 文化学部 三五 (一〇・五・三)	中国由来と日本由来の「生き物供養」と「何でも 供養」の共通性と差異と特徴	相 田 満	40
日本仏教総合研究学会 日本仏教綜合研 究 二二 (一〇・四・九)	法華懺法の次第成立過程攷	矢 島 正 豊	七八
花園大学禪學研究会 禪學研究 一〇・一 (一〇・四・三)	趙州「庭前柏樹子」の對話と宋代の傳承	衣 川 賢 次	九一
花園大学禪學研究会 禪學研究 一〇・一 (一〇・四・三)	普庵諷經に関する一考察	澤 城 邦 生	一〇七
花園大学禪學研究会 禪學研究 一〇・三 (一〇・五・三)	道元『正法眼藏』「現成公案」冒頭第一段の解釋	衣 川 賢 次	一一八
東アジア仏敎研究会 東アジア仏敎研究 二二 (一〇・四・九)	玄奘三藏と密敎に関する一考察 ——『大唐西域記』、『慈恩伝』、玄奘訳の經典類を 中心として——	徐 東 軍(来海)	48
福山市立大学教育学部研究紀要 一三 (二〇・五・一)	中国の就学前教育における子どもの「主体性」の 育成に関する考察——3、6歳児の学習と発達 ガイドライン」の計量テキスト分析による——	今 中 博 章 劉 郷 瑠 英 上 山 瑠 子 池 田 明 司 高 澤 健 司	58
佛教史學會 佛教史學研究 六四・一 (二〇・三・七)	抗日戦争と中国人僧侶 ——日本軍占領地における大醒の「非協力」——	坂 井 田 夕 起 子	一一〇
佛教史學會 佛教史學研究 六五・一 (二〇・三・一〇)	則天武后による棺槨形舍利容器的創始と流布 ——法門寺真身舍利の金棺銀槨と儀鳳年間の舍利頒 布——	大 西 磨 希 子	一四九
佛教史學會 佛教史學研究 六五・一 (二〇・三・一〇)	南斉・梁の陵墓と仏敎	村 元 健 一	一六八
佛教史學會 佛教史學研究 六五・一 (二〇・四・三)	開元寺塔修塔碑に見る北宋定州の人々	山 根 直 生	一八〇
佛教大学 社会学部論集 八〇 (二〇・五・三)	中国社会学の過去、現在および将来——中国社会学 社第1回年会(1930年12月)での講演——	星 孫 本 文 ／ 訳 明 著	64
佛教大学仏敎学会紀要 三〇 (二〇・五・三)	迦才『浄土論』テキスト考	辻 本 俊 郎	一九五
佛教大学法然仏敎学研究センター紀要 一一 (二〇・五・三)	『往生西方浄土瑞応刪伝』訳注(一)	齊 藤 義 隆 曾 弘 孝 宏 加 藤 隆 信 小 田 法 偉 永 真 道 偉	二〇五

佛教文化学会紀要 二二 (二〇・四・二)	聖地の高等教育と仏教者 — 旅順高等学校初代校長の川瀬光順 —	大澤 広 嗣 二三八
文教大学 文学部紀要 三八・一 (二〇・四・二)	中国映画における「故郷」と「異郷」 — 賈樟柯と彼の映画を中心に —	蓋 暁 星 72
文教大学大学院言語文化研究科付属言語 文化研究所 言語と文化 三七 (二〇・五・三)	日中映画における「青春」の表象 — 「不良」と「敗北」の物語を巡って	蓋 暁 星 88
北陸大学紀要 五七 (二〇・四・九)	中国東北シャーマニズムの現状と課題 — エヴエンキ族のシャーマニズム文化とその近代 化を例として —	小野田 二ノ宮 聡亮 104
密教研究会 密教文化 二五二 (二〇・四・三)	不空三蔵と代宗皇帝 — 公文書から見た両者の関係を中心に —	岩 崎 日出男 二五三
武蔵大学人文学会雑誌 五六・一 (二〇・四・二)	「国民料理」としての中国料理の成立をめぐる — 伝統中国の政治思想と日本 — 古代から近世まで — 比較史的・比較思想的考察 —	西 澤 治 彦 二六八
武蔵大学総合研究機構紀要 三三 (二〇・四・九)	梁武帝の仏教的歴史観と実践 — 像法の聖王として —	伊 東 貴 之 111
武蔵野大学仏教文化研究所紀要 四一 (二〇・五・二)	「言語の民主化」とその生成 — 戦後台湾の言語政策を中心に —	遠 藤 祐 介 二八五
明海大学日本語学会 明海日本語 三〇 (二〇・五・三)	南宋湯漢の「朱陸折衷」論	中 川 仁 123
明海大学大学院 応用言語学研究 二七 (二〇・五・三)	中唐の『荀子』像	中 嶋 諒 128
明治学院大学教養教育センター紀要 カルチュール 一九一 (二〇・五・三)	漢字書法と視錯覚	宮 岸 雄 介 三〇〇
桃山学院大学総合研究所 人間文化研究 二二 (二〇・五・一)	漢代経学の特徴 — 六藝による「性と天道」の追求 —	徐 国 玉 137
山口大学教育学部研究論叢 七四 (二〇・五・三)	中国山東省中等日本語教育の成果と評価及び趨勢 について — 13校の高等学校長に向けたアンケート 調査結果の分析 —	南 部 英 彦 三二〇
山口大学大学院 東アジア研究 二三 (二〇・五・三)	『明英宗実録』における留京チベット仏教僧に関 する勅命記事 — 「惑仏」皇帝像の創出 —	郭 玲 玲 龍 玲 150
横浜国立大学論叢 人文科学系列 七六・一 (二〇・四・二)	七種二諦説の展開 — 章安灌頂の説と後代の解釈を中心として —	乙 坂 智 子 三二五
立正大学仏教学会 大崎学報 一八〇 (二〇・四・三)	日中におけるアール・ブリュットの受容と展開	日 比 宣 仁 三四六
立命館大学経済学会 立命館経済学 七二・一 (二〇・四・九)	建国後の農村劇団と関連資料 — 参考書 報告書にみる名角制 幕表制 —	秦 岡 優 紀 158
立命館大学国際言語文化研究所 立命館 言語文化研究 三六・三 (二〇・五・三)	(資料紹介) 青銅器・原卦盤	大 野 陽 介 164
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究 所 漢字学研究 二二 (二〇・四・二)	ザ子鼎	末 次 信 行 三三八
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究 所 漢字学研究 二二 (二〇・四・二)	幽公逋(遂公逋)	佐 藤 信 弥 三六五
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究 所 漢字学研究 二二 (二〇・四・二)	周公召公による共和攝政の真相 — 西周時代における攝政の形態(一)	村 上 幸 造 三七七
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀 要 一八 (二〇・五・二)	近衛家当主における蘇軾の受容	高 島 敏 夫 三八七
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀 要 一八 (二〇・五・二)		松 尾 肇 子 三九七

立命館白川靜記念東洋文字文化研究所紀
要 一八 (二〇一五・二)

『千金翼方』禁經 譯註稿(一)

島山奈緒子 四〇三

琉球大学 地理歴史人類学論集 一二
(二〇一三・二)

天地精義・空間概念としての天地(一)

益田理広 172

琉球大学 地理歴史人類学論集 一三
(二〇一四・二)

天地精義・空間概念としての天地(二)

益田理広 210

龍谷大学真宗学会 眞宗學 一五〇
(二〇一四・三)

『安樂集』における『十往生經』引用の意義
―「靈山現土」と阿弥陀仏五十菩薩像を手がかり
として―

内田准心 四一八

龍谷大學佛教学會 佛教學研究 七九
(二〇一三・二)

敦煌本『無量寿経義記』の思想及び成立期再考

魏 藝 四三四

龍谷大學佛教学會 佛教學研究 八一
(二〇一五・二)

大乘起信論中国撰述説の一考察

相馬一意 四四六

早稲田大学東洋哲学大会 東洋の思想と宗
教 四一 (二〇一五・二)

『韓非子』における物語の利用

渡邊義浩 四五七

早稲田大学東洋哲学大会 東洋の思想と宗
教 四一 (二〇一五・二)

國立公文書所館所藏『經武彙編』附録『文成外編
摘要』について

永富青地 四六八

早稲田大学東洋哲学大会 東洋の思想と宗
教 四二 (二〇一五・二)

別理隨緣説に對する宋代天台諸師の反應
―南宋天台山家派における評論を中心に―

久保田正宏 四七七

早稲田大学大学院文学研究科紀要 七〇
(二〇一五・二)

殷周革命をめぐる物語の展開

渡邊義浩 四九〇

早稲田大学大学院文学研究科紀要 七〇
(二〇一五・二)

『慈覺大師伝』法華懺法関連記事の再検討

矢島正豊 四九七

第二分冊 (文学・語学) 上

愛知大学中日大辞典編纂所 日中語彙研究 一一 (一〇・三三・一)	食品表示における文語表現 —レリアリアによる中国語教育の一環として(7)—	石崎 博志	1
愛知大学中日大辞典編纂所 日中語彙研究 一二 (一〇・三三・一)	2022年中国の新語・流行語	趙 蔚青	13
愛知大学東亜同文書院大学記念センター報 三三 (一〇・五・一)	「域外官話資料」の多角的視点からのアプローチ	内田 慶市	21
愛知教育大学外国語外国文学研究会 外国語研究 五七 (一〇・四・一)	「比較」と程度副詞的共現	時 衛国	32
愛知教育大学外国語外国文学研究会 外国語研究 五八 (一〇・五・一)	「相当」と他の程度副詞との共起について	時 衛国	44
愛知県立大学大学院国際文化研究科論集 二六 (一〇・五・一)	日中近現代文学における伝統文化の表象 —小説の七夕描写の比較を中心に—	趙 静怡	55
愛知淑徳大学論集 交流文化学部 一四 (一〇・四・三)	关于中阶汉语听说课程的新尝试 —混合式教育模式的可行性与问题点—	何 龍	79
愛知淑徳大学論集 交流文化学部 一五 (一〇・五・一)	AI賦能汉语教育 —在日本的大学中高级汉语课上的创新与挑战—	何 龍	84
愛知淑徳大学論集 文学部 四九 (一〇・四・一)	Limitation and variation in the word order of VOS languages	WAKAYAMA Masayuki	88
大阪大学 外国語教育のフロンティア 八 (一〇・五・一)	日本語学習者词语搭配能力与其汉语水平的相关研究	李 佳	94
大阪公立大学 言語情報学研究 二〇 (一〇・四・三)	満洲語文語における漢語定型表現の翻訳形式(2) —『満文金瓶梅』中の諺の用例から—	山崎 雅人	99
大阪公立大学 言語情報学研究 二二 (一〇・五・一)	満洲語文語における漢語定型表現の翻訳形式(3) —『満文金瓶梅』中の諺の用例から—	山崎 雅人	107
大阪公立大学人文学会 人文学論集 四二 (一〇・四・三)	詞「蝶恋花」における王国維の境界と時間	楊 冰	116
大阪公立大学人文学会 人文学論集 四三 (一〇・五・一)	中国の古典詩歌「詞」における愛の造形 —李煜の作品における「愁」から見る	楊 冰	124
大阪公立大学大学院 都市文化研究 二六 (一〇・四・三)	試析琦君創作初期的風格轉變 —以《尋心》和《溪邊瑣語》為例—	徐 叔琳	132
大谷大学文藝學會 文藝論叢 一〇二 (一〇・四・三)	文人と税 —杜甫・白居易・蘇軾・陸游を中心に—	浅見 洋二	—
岡山商科大学学会 岡山商大論叢 五八・三 (一〇・三・一)	日本人中国語学習者特有の表現特徴に関する一考察 —中国語作文コンテスト応募作品の分析を通して—	韓 雲冬	138
お茶の水女子大学中国文学会報 四二 (一〇・三・四)	遙かな「故畦」——王安石と臨川・金谿	水津 有理	一六
お茶の水女子大学中国文学会報 四三 (一〇・四・四)	中国語連体修飾「的」の通時的研究	橋本 陽介	150
お茶の水女子大学中国文学会報 四三 (一〇・四・四)	中國語教學報告…離合詞の入門與時態助詞	富 嘉吟	157

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学論叢 二七 (二〇一五・三)	老舎の描いた「赦し」——『大悲寺外』を読む——	福島 俊子	161
学習院大学人文科学研究 人文 二三 (二〇一五・三)	東アジア言語(日本語・中国語・朝鮮語)の南北方言におけるある種の音韻対応 [k・x・p] へ [k・x]	安部 清哉	165
学習院大学東洋文化研究所 東洋文化研究 二六 (二〇一四・三)	歐陽脩「啓」文体の特色	久保山 哲二	185
学習院大学東洋文化研究所 東洋文化研究 二六 (二〇一四・三)	「滿漢並香集」の研究	東 英寿	193
学習院大学文学部 研究年報 七一 (二〇一五・三)	北大秦簡『教女』の特徴と想定される「読者」について	荒木 典子	193
鹿兒島大学 鹿大史学 七〇 (二〇一三・三)	李日と科挙	海老根 量介	二一五
鹿兒島県立短期大学紀要 人文・社会科学篇 七五 (二〇一四・二)	SNチャットの会話における話題管理の対照——話題の輻輳に注目して——	高津 孝	二一五
神奈川大学言語研究 四七 (二〇一五・三)	的字構造・中心語の意味論	楊 虹	211
神奈川大学言語研究 四七 (二〇一五・三)	古近代漢語「隱喻型」禮貌體系的理論構建——「陰陽」世界觀折射下的人際關係修辭法——	松村 文芳	221
神奈川大学 人文研究所報 六九 (二〇一三・三)	『大目乾連冥間救母変文』の絵解き唱導初探	彭 國躍	240
神奈川大学 人文研究所報 七三 (二〇一五・三)	中国講談『評書三國演義・美女連環の計』の芸能学的研究	吉川 良和	248
神奈川大学人文学会 人文研究 二二三 (二〇一四・二)	版改訂による「叙言分離体」の浮上——上海作家・夏商『東岸紀事』の方言修正を中心に——	吉川 良和	259
関西大学国文学会 国文学 一〇八 (二〇一四・三)	前田河広一郎『支那から手を引け』論——「北伐革命軍上海入城前後」を手がかりに——	賈 海濤	270
関西大学史学・地理学会 史泉 二三八 (二〇一三・七)	井上靖『楊貴妃伝』論——権力と女性の力学——	邵 金琪	四一
關西大學文學論集 七四・一二 (二〇一四・九)	中国湖南省の省民性と発話イメージ形成に関する地理学的研究	毛 鋼	四九
関西大学大学院 東アジア文化交渉研究 一六 (二〇一三・三)	中国語の検定試験における文語使用	楊 珺屹	284
関西大学大学院 東アジア文化交渉研究 一七 (二〇一四・三)	青木正児著『支那近世戯曲史』の漢訳と評価について	石崎 博志	294
関西大学大学院 東アジア文化交渉研究 一七 (二〇一四・三)	近代翻譯史中翻譯標準「信」的确立	辜 承堯	307
関西大学大学院 東アジア文化交渉研究 一七 (二〇一四・三)	ナラトロジーを用いた李白英訳詩の考察	陈 晓淇	315
関西外国語大学 研究論集 一一〇 (二〇一四・九)	青木正児著『支那近世戯曲史』の漢訳と評価について(続)——王古魯による訳著を中心に——	樂 曉涵	322
神田外語大学紀要 三七 (二〇一五・三)	『封神演義』の仏教系人物について	辜 承堯	334
	日本語の「に」に当たる初級中国語文法項目の教え方について	二階堂 善弘	342
	小テストの回答結果からの一考察——	安 真穂	349
	“过”の理解のために	趙 谷天	356
		宋 鴻嵐	
		白銀 志栄	

近代東西言語文化接触研究会 或間 四五 (二〇二四・六)	日本語の中国地名の変遷 ―その多様性と類型	田野村 忠 温	497
近代東西言語文化接触研究会 或間 四六 (二〇二四・一二)	「卡車」の語史 ―その起源と展開	田野村 忠 温	509
近代東西言語文化接触研究会 或間 四六 (二〇二四・一二)	最高程度を表す副詞の日中比較 ―「一番」「最も」と最「頂」を中心に	陳建明 楊梓琪	517
熊本大学 国語国文学研究 五五 (二〇二四・三)	『太平広記』訳注 ―巻四百二十五「龍」八―	太平広記読書会	一六六
熊本大学 国語国文学研究 五六 (二〇二五・三)	『太平広記』訳注 ―巻二百三十三「酒」―	屋敷信晴 太平広記読書会	一八三
熊本大学社会文化研究 二二 (二〇二四・三)	沈黙か、詠嘆か? ―『敦隣』における武田泰淳 の文芸評論の中国語訳について―	趙 海 霞	521
熊本学園大学 文学・言語学論集 三一 (二〇二四・六)	早期上海方言動詞「发」的相关考察	王 一 萍	529
熊本学園大学 文学・言語学論集 三一 (二〇二四・六)	沈氏四種《才人福》校注(上卷)	戴石 佳 文 杰	541
熊本学園大学 文学・言語学論集 三一 (二〇二四・一二)	沈氏四種《才人福》校注(下卷)	戴石 佳 文 杰	564
慶應義塾大学藝文学会 藝文研究 二七 (二〇二四・一二)	文簡本『京本増補校正全像忠義水滸志伝評林』と 『石渠閣補刻本』の版本関係	鈴木 万里奈	一九八

第二分冊 (文学・語学) 下

慶應義塾大学日吉紀要 人文科学 三九 (二〇一四・六)	中国現代小説の楽しみ方 — 楊絳『洗澡』再読 —	櫻庭 ゆみ子	—
工学院大学研究論叢 六一一 (二〇一四・三)	日本の現代小説における「てくれる」に対応する 中国語表現について	安 明 姫	1
神戸女学院大学論集 七一― (二〇一四・六)	コーパスを活用した中国語教育にむけて ― 程度副詞「非常」を例に ―	建 石 瑩 始	7
神戸女学院大学論集 七一― (二〇一四・一)	谷崎文学における中国人女性像の考察	李 志 穎	12
國學院大學外国語文化学科紀要 Malpurgis 一〇四 (二〇一四・一)	ナン族トンバ經典『ドウとスの戦い』の翻訳と注 釈(2)	黒 澤 直 道	21
國學院大學外国語文化学科紀要 Malpurgis 一〇五 (二〇一五・一)	ナン族トンバ經典『ドウとスの戦い』の翻訳と注 釈(3)	黒 澤 直 道	29
國學院大學紀要 六三 (二〇一五・一)	「ヒロシマ」から「ウチナダ」へ ― ロマン・キム著『広島からきた少女』中国語訳 二種を巡る諸相 ―	牧 野 格 子	37
国際基督教大学アジア文化研究所 アジ ア文化研究 五一 (二〇一五・三)	「期待の地平」を促す村上春樹作品のタイトルの 中国語訳 ― 林少華訳と頼明珠訳を中心に ―	周 鈺	47
国際基督教大学比較文化研究会 I C U 比較文化 五六 (二〇一四・一)	中国大陸と台湾における「村上春樹現象」	周 鈺	58
国士館大学 国士館人文学 一四 (二〇一四・三)	大正期のイバネスブームと郭沫若への影響	藤 田 梨 那	69
国士館大学 国士館人文学 一五 (二〇一五・三)	郭沫若1920年代の小説に見られる精神分析学 の受容 ― 「残春」と「カルメラ娘」を中心として ―	藤 田 梨 那	80
駒沢女子大学 研究紀要 三二 (二〇一五・三)	中国語学習目的の変化に関する調査研究(続報)	保 坂 律 子	89
埼玉大学 国語教育論叢 一六 (二〇一三・一〇)	徐霞客とその遊記	盧 井 俊 二	二三
作新学院大学 作大論集 一九 (二〇一四・八)	満洲語版屍鬼物語3	西 村 正 身	95
札幌大学研究紀要 六 (二〇一四・三)	『封氏聞見記』訳注(二〇)	高 瀬 奈 津 子	二九
滋賀県立大学人間文化学部研究報告 人間文化 五七 (二〇一四・一〇)	中国語の主観性に関する考察 ― 日英語の表現構造との比較から ―	江 川 式 奈 津 子	二九
四国大学学際融合研究所年報 五 (二〇一五・三)	台湾における華人の定義について	中 谷 博 美	105
至誠館大学研究紀要 二二 (二〇一五・三)	「玉臺新詠序」訳注(九)	佐 野 誠	108
史訪会 東洋史訪 三一 (二〇一四・五)	鲁迅と陳源 ― 論争の鍵を握る張鳳挙 ―	鎌 本 陽 子	114
尚美学園大学総合政策論集 三九 (二〇一五・三)	“教師”を中心とした日中同形語の対照研究	山 内 一 恵	121
信州大学人文科学論集 一二一 (二〇一四・九)	『雷塘庵主弟子記』訳注(3)	大 上 忠 幸	127
		豊 岡 佳 和 史	136
		李 柳 村 相 上 原 岡 佐 静 正 佳 康 儒 我 和 史	

聖学院大学論叢 三六・二 (二〇・四・三)	小説における“因为”とそれに対応する日本語の表現形式に関する考察	新田 小雨子	140
成城大学経済研究 一四五 (二〇二四・七)	近代知としての日本漢文と中国的受容	陳章 力 衛清	148
星城大学 研究紀要 一三三 (二〇三・三)	“口”、“嘴”の基本義とその意味拡張	日下部 直 美	161
聖徳大学言語文化研究所 論叢 三二 (二〇二五・三)	中国の『楚夢』の伝説と漱石の文学	李 哲 権	168
西南学院大学大学院研究論集 二〇 (二〇二五・一)	「社会」と「恋愛」の図式 ―1930年代における張恨水小説『落霞孤鶩』の試みと挫折―	李 斯 琪	180
摂南大学 摂南国際研究 二 (二〇二四・一)	曹禺『雷雨』侍萍の人物形象について	瀬 戸 宏	186
摂南大学 摂南国際研究 三 (二〇二五・一)	曹禺『雷雨』周萍の形象を巡って	瀬 戸 宏	191
大東文化大学 外国語学会誌 五三 (二〇二四・三)	会話文における“来”の使用について	陶 源	197
大東文化大学 外国語学会誌 五四 (二〇二五・三)	平行コーパスから見た『近世社会主義』の中国語訳についての研究	孫 宇 雷	202
大東文化大学漢學會誌 六三 (二〇二四・三)	錢肅潤の旅―「十峰主人傳」および『十峰詩選』を手がかりに―	小 塚 由 博	三九
大東文化大学紀要 六三 人文科学 (二〇二五・一)	学習成果の可視化に関する試案(5) ―「三」に関するアンケート調査の結果を中心に―	大 島 吉 郎	206
大東文化大学紀要 六三 人文科学 (二〇二五・一)	中日両言語の語順が不对応になる場合について	高 橋 弥 守 彦	213
大東文化大学紀要 六三 人文科学 (二〇二五・一)	藤居岳人「江戸時代の『莊子』研究の評価―中井履軒撰『莊子雕題』を題材に―(統)」に対する疑問点	湯 城 吉 信	六一
大東文化大学語学教育研究所 語学教育研究論叢 四一 (二〇四・三)	孫俚工『中国語法講義』に関する一考察	田 村 新	222
大東文化大学語学教育研究所 語学教育研究論叢 四二 (二〇二五・三)	楊樹達『中国語法綱要』に関する一考察	田 村 新	230
大東文化大学歴史文化学会 大東史学 七 (二〇二五・三)	試論日語的「く力」和汉语的“……力”	王 学 群	237
中央大学人文科学研究所 人文研究紀要 一〇八 (二〇二四・九)	五井蘭洲の『莊子』理解 ―『莊子郭註紀聞』を中心に―	湯 城 吉 信	六六
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三三 (二〇四・一)	閻連科の『中原』と『中国故事』の差異に関する考察	朱 力	244
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三五 (二〇二五・一)	近世初期の「倒法」―宋明文論の受容―	小 野 泰 央	七八
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三五 (二〇二五・一)	林羅山の《模擬》	小 野 泰 央	八八
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三五 (二〇二五・一)	忘れられた日本の阿Qたち	飯 塚 容	一〇四
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三五 (二〇二五・一)	翻訳者と読み解く小説『長恨歌』(王安憶著 飯塚容訳)	榎 本 泰 子	二一七
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三五 (二〇二五・一)	汉语的补语真的是“补语”吗? ―关于补语语法地位的探讨―	石 村 广	263

中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 一三五 (一〇・五・一一)	閻連科の作品における宗教モチーフ ―『四書』、『信徒』、『心経』を中心に―	朱力	276
中京大学 教養教育研究院論叢 五 (二〇・五・一二)	《英語週刊》(translation)における受け身表現の 翻訳について	稲垣智恵	288
筑波大学大学院 筑波日本語研究 二七 (二〇・三・一)	日中感情オノマトペの使用実態から見る反復形の 相違について	孫逸	298
筑波大学大学院 筑波日本語研究 二九 (二〇・五・一)	日本語から中国語に逆輸入された漢語の一研究 ―「存在」を例として―	蔡嘉昱	306
都留文科大研究紀要 九九 (二〇・四・一二)	『鉄の部屋』の中で魯迅『藤野先生』・『故郷』を 読む ―近代小説の深層構造を捉えるために―	周非	二二九
都留文科大研究紀要 一〇一 (二〇・五・一二)	日本における清詩研究について ―王漁洋研究を中心に―	張月兵	313
東亜大学紀要 三六 (一〇・三・一一)	中国における翻訳理論と翻訳教育 ―大学日本語 翻訳教育と機能主義的翻訳理論の可能性―	符曉旭	324
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八五 (二〇・四・一二)	皇帝の孤独と悲哀―元雜劇『漢宮秋』試論	廣瀬玲子	二四二
東京大学大学院 Language, Information, Text 三三 (一〇・四・一一)	現代中国語の助動詞「要」の意味と機能	小野秀樹	334
東京大学大学院 アジア地域文化研究 二〇 (一〇・四・一二)	柏楊『醜い中国人』の反響と波紋(1985― 2024) ―台湾と中国大陆を中心に―	周俊宇	342
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言について	中元	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における受動表現	小永村	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言のアスペクト	久利	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言におけるモダリティ	森園	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言におけるヴォイスとその周辺	鶴保	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における所有と存在表現	久利	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における他動性	森園	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における運用修飾的複文	久利	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における情報構造と名詞述語文	森園	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における情報標示の諸要素	久利	
東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・一二)	漢語平江方言における否定、形容詞と連体修飾複 文	森園	

東京外国語大学 語学研究所論集 二七 (二〇・三・三)	漢語赤壁方言… 特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」 西夏語の「[stɕpa]」の文法化について	張 睿 思	408
東京外国語大学 語学研究所論集 二九 (二〇・五・三)	漢語赤壁方言… 「所有・存在表現」「連用修飾的」複文」「情報構造」と名詞述語文」「情報標示の諸要素」「否定」形容詞と連体修飾複文」	劉 荒 川 慎 少 華	425
東京外国語大学 語学研究所論集 二九 (二〇・五・三)	漢語赤壁方言… 「所有・存在表現」「連用修飾的」複文」「情報構造」と名詞述語文」「情報標示の諸要素」「否定」形容詞と連体修飾複文」	張 睿 思	432
東京外国語大学大学院 言語・地域文化研究 三一 (二〇・五・一)	談話の終わりに用いられる「V了O」について — 談話分析の視点から —	胡 良 娜	444
東京学芸大学紀要 人文社会科学系 七五 (二〇・四・一)	中華書局編輯部編『詩詞曲語辭典』に見る唐詩の特徴的な用法について(7)	高 長 谷 川 橋 未 史 来	455
東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国文学 五七 (二〇・五・三)	中国語教科書カタログから見る音声教材の変遷と大学生の音声教材使用状況について — 唐詩における方位詞の異読について — — 中華書局編輯部「詩詞曲語辭典」を中心に —	有 木 大 輔	二五六
東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国文学 五七 (二〇・五・三)	劉禹錫「有所嗟」一音考 — 『源氏物語』葵巻の引用を契機として —	石 村 貴 博	二六一
東京女子大学日本文学 一二二 (二〇・五・三)	中国文学の歴史的記憶 — 近景の上海 遠景の蘇州・杭州 —	和 田 博 文	二六八
東京女子大学比較文化研究所紀要 八六 (二〇・五・一)	中国の民国期(1912-1949)における森鷗外文学の翻訳 — 「魚玄機」を例に — — 従属節に現れる台湾閩南語の「敢VP」 — — 予備的調査 —	高 潔	472
東京都立大学 人文学報 五〇・一二 (二〇・四・三)	『華文大阪毎日』の「表」と「裏」 — 台湾作家・吳漫沙と「満洲国」作家・吳郎の場合	飯 田 真 紀	482
東京都立大学 人文学報 五〇・一二 (二〇・四・三)	亦宛然掌中劇團『火雲洞』台本考	牛 耕 耘	490
同朋大学人文学会 同朋文化 二〇 (二〇・五・三)	近代日本に於ける『警世通言』巻28「白娘子永鎮雷峰塔」の受容について — 松枝茂夫(1958)と中村博保(1986)の翻訳を中心として —	渡 邊 幸 彦	501
東北大学大学院 国際文化研究 三〇 (二〇・四・三)	渡邊末吾による『醒世恆言』巻30の翻訳について — 新たに発見された第2の翻訳層による児童文学作品 —	山 田 恭 弘	510
東北大学大学院 国際文化研究 三二 (二〇・五・三)	『風月瑞仙亭』小考(1) — 『警世通言』巻6における改変を中心に(附訳注) —	陳 山 熙	517
東北大学大学院 国際文化研究 三二 (二〇・五・三)	ラフカディオ・ハーン訳『今古奇觀』の日本受容について — 佐藤春夫「孟沂の話」を中心に —	勝 山 偉 婷	525
東北大学大学院 国際文化研究科論集 三二 (二〇・四・二)	『風月瑞仙亭』小考(1) — 『警世通言』巻6における改変を中心に(附訳注) —	謝 劉 山 田 恭 弘	533
東北大学大学院 国際文化研究科論集 三二 (二〇・四・二)	小田嶽夫による『醒世恆言』翻訳に関する真偽について — 受容史における小田訳の位置付け —	勝 山 偉 婷	533
東北公益文科大学総合研究論集 四七 (二〇・四・三)	満洲俳句の季語について — 南満洲を中心に	謝 劉 山 田 恭 弘	533
東洋大学人間科学総合研究所紀要 二七 (二〇・五・三)	日汉翻译 — 汉语误译分析之分析 — 「て形」和连动	吳 衛 峰	二八四
東京学芸大学紀要 人文社会科学系 七五 (二〇・四・一)	中国語教科書カタログから見る音声教材の変遷と大学生の音声教材使用状況について — 唐詩における方位詞の異読について — — 中華書局編輯部「詩詞曲語辭典」を中心に —	有 木 大 輔	二五六
東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国文学 五七 (二〇・五・三)	劉禹錫「有所嗟」一音考 — 『源氏物語』葵巻の引用を契機として —	石 村 貴 博	二六一
東京女子大学日本文学 一二二 (二〇・五・三)	中国文学の歴史的記憶 — 近景の上海 遠景の蘇州・杭州 —	和 田 博 文	二六八
東京女子大学比較文化研究所紀要 八六 (二〇・五・一)	中国の民国期(1912-1949)における森鷗外文学の翻訳 — 「魚玄機」を例に — — 従属節に現れる台湾閩南語の「敢VP」 — — 予備的調査 —	高 潔	472
東京都立大学 人文学報 五〇・一二 (二〇・四・三)	『華文大阪毎日』の「表」と「裏」 — 台湾作家・吳漫沙と「満洲国」作家・吳郎の場合	飯 田 真 紀	482
東京都立大学 人文学報 五〇・一二 (二〇・四・三)	亦宛然掌中劇團『火雲洞』台本考	牛 耕 耘	490
同朋大学人文学会 同朋文化 二〇 (二〇・五・三)	近代日本に於ける『警世通言』巻28「白娘子永鎮雷峰塔」の受容について — 松枝茂夫(1958)と中村博保(1986)の翻訳を中心として —	山 田 恭 弘	510
東北大学大学院 国際文化研究 三〇 (二〇・四・三)	渡邊末吾による『醒世恆言』巻30の翻訳について — 新たに発見された第2の翻訳層による児童文学作品 —	陳 山 熙	517
東北大学大学院 国際文化研究 三二 (二〇・五・三)	『風月瑞仙亭』小考(1) — 『警世通言』巻6における改変を中心に(附訳注) —	勝 山 偉 婷	525
東北大学大学院 国際文化研究科論集 三二 (二〇・四・二)	小田嶽夫による『醒世恆言』翻訳に関する真偽について — 受容史における小田訳の位置付け —	謝 劉 山 田 恭 弘	533
東北公益文科大学総合研究論集 四七 (二〇・四・三)	満洲俳句の季語について — 南満洲を中心に	謝 劉 山 田 恭 弘	533
東洋大学人間科学総合研究所紀要 二七 (二〇・五・三)	日汉翻译 — 汉语误译分析之分析 — 「て形」和连动	吳 衛 峰	二八四

東洋大学法学会 東洋法学 六八二 (二〇一四・一二)	豊子愷の台湾体験について	大野 公賀	544
常葉大学教育学部紀要 四四 (二〇一四・三)	村上知行の中国観と帝国主義批判 ―『北平 名勝と風俗』論―	戸塚 麻子	一九四
常葉大学教育学部紀要 四五 (二〇一五・三)	日中戦争期北京の詩誌『華北詩人』について ―北京・青島・大連の詩人ネットワーク 付・『華北詩人』細目―	戸塚 麻子	一九九
富山大学 教養教育院紀要 五 (二〇一四・三)	中国語科目共通試験の実施方法についての報告 ―授業外学習時間と学習方法―	福田 翔	556
富山大学人文科学研究 八二 (二〇一五・二)	「夏侯湛の詩」覚書	大野 圭介	二〇八
長野大学紀要 四五三 (二〇一三・一二)	朱徳熙1982の二重目的語に対する論理意味分 析	青木 萌	559
長野大学紀要 四六四 (二〇一五・三)	朱徳熙(1982)の准目的語に対する論理意味分 析	青木 萌	565

第二分冊（文学・語学） 増刊

名古屋大学言語文化研究会 学 三八（二〇〇四・一二）	中国語の“去”、“来”、“回”の選択について1 ―二者会話における第一話者が移動する場合（現在時）―	杉村 泰	1
名古屋大学言語文化研究会 学 三八（二〇〇四・一二）	日本語の「行く」、「来る」、「帰る」と中国語の“去”、“来”、“回”の選択に関する対照研究1 ―二者会話における第一話者が移動する場合（現在時）―	杉村 泰	11
名古屋大学言語文化研究会 学 三八（二〇〇四・一二）	受動的意味を表す日本語の動詞「招く」と中国語の“导致”の対照研究	郝 文 文	20
名古屋大学言語文化研究会 学 三八（二〇〇四・一二）	中国語の状況と補語の位置に置かれた“全”の意味機能再考	許 賢 科	28
名古屋大学文学研究論集 七 （二〇〇四・三）	《约翰传福音书》中所见给予、使役、被动―兼及南、北官话版之基础方言问题―	盧 建	35
名古屋大学文学フォーラム 八 （二〇〇五・三）	中国語における告げ口文に関する一考察 ―非現実文の形式が現実文の意味を表す場合について―	劉 士 沢	43
名古屋外国語大学論集 一六 （二〇〇五・一）	映画『紅花緑葉』字幕翻訳（下） （原題：紅花緑葉 Red Flowers and Green Leaves）	楊 紅 雲	48
名古屋学院大学論集 言語・文化篇 三六・一（二〇〇四・一〇）	J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響（12） ―共通語カバー曲と比較して2―	樋口 勇 夫	58
名古屋学院大学論集 言語・文化篇 三六・一（二〇〇五・三）	犯罪・ミステリー映画の日中比較（6）	近 藤 泉	66
名古屋短期大学研究紀要 六三 （二〇〇五・三）	台湾華語の時量詞構文における時量詞の事態変化後の経過時間解釈について―“買”“賣”そしてその他の動詞の考察およびその理論的含意―	福 本 陽 介	88
奈良女子大学日本アジア言語文化学会 叙説 五一（二〇〇五・三）	潘岳の悲哀表現 ―哀祭文を中心とした曹植との比較から―	林 香 奈	一
奈良女子大学日本アジア言語文化学会 叙説 五一（二〇〇五・三）	徐志摩「女性について」―蘇州女子中学での講演原稿―にみる女性文学観	辜 知 愚	一〇
奈良女子大学日本アジア言語文化学会 叙説 五一（二〇〇五・三）	『雲裳統譜』の構成と修辞表現をめぐって	竹 田 治 美	95
奈良女子大学日本アジア言語文化学会 叙説 五一（二〇〇五・三）	越劇『孔雀東南飛』にみる「姑」と「嫁」―話劇、京劇との比較より―	中 山 文	108
奈良女子大学日本アジア言語文化学会 叙説 五一（二〇〇五・三）	台湾の文学から台湾文学へ 台湾文学の日本語訳とパラダイムシフト	黄 英 哲	116
中国語形容詞一語文の語用論的条件とその機能		前 池 田 真 砂 美	126
南山大学 アカデミア 文学・語学編 一一六（二〇〇四・六）	蘇軾詩注解（三十五）	西 岡 純 裕 中 田 直 枝 蔡 直 枝 原 直 枝	一八
南山大学 アカデミア 文学・語学編 一一七（二〇〇五・一）	蘇軾詩注解（三十六）	西 岡 純 裕 中 田 直 枝 蔡 直 枝 原 直 枝 （南山読解会）	三四

南山大学 アカデミア 文学・語学編 一一七 (一〇・五一)	龍門陣体の語り — 李訥人の文体について —	中 裕 史	五二
南山大学 日本文化学科 論集 二四 (二〇・四・三)	蘇軾詩注解補 (六)	西山 説 蘇 会	六五
南山大学 日本文化学科 論集 二五 (二〇・五・三)	蘇軾詩注解補 (七)	西山 説 蘇 会	七四
南山大学大学院 国際地域文化研究 一九 (一〇・四・二)	The Sadness and Hope of Wandering Chinese Exploring Bai Xian Yong's Literature Work Taipei People and New Yorker	Au Yeung Chun Z	136
新潟大学大学院 環日本海研究年報 三〇 (一〇・五・三)	『雷塘庵主弟子記』訳注(4)	村原 正和 豊康 史之 柳静 我 李 儒	150
新潟大学大学院 言語の普遍性と個性 一五 (一〇・四・三)	動詞に関わる定語の考察 — 主述文との対照に基づく分析 —	鄭 欣 悦	156
二松学舎大学 人文論叢 一一三 (二〇・四・一〇)	関羽の視覚的特徴の形成と受容	伊 藤 晋 太 郎	八三
二松学舎大学 人文論叢 一一四 (二〇・五・三)	黄丕烈『校刊明道本韋氏解國語札記』周語下譯注	小 方 伴 子	九二
二松学舎大学 東アジア学術総合研究所集 刊 五五 (二〇・五・三)	芥川文学における病める近代中国 — 患者としての中国人と医師としての日本人	王 学 勤	二〇八
二松学舎大学 東アジア学術総合研究所日 本漢学研究センター 日本漢学研究 二〇 (一〇・五・三)	『品梅記』にみる京都支那学派の中国演劇認識 — 東京側の評論との比較をかねて —	辜 承 堯	二二〇
二松学舎大学 論集 六八 (二〇・五・三)	『三国志演義』の孫乾像をめぐる日本語表現につ いて	仙 石 知 子	二二二
日本大学 総合文化研究 二九二 (二〇・三・一一)	蘇軾の詞と『莊子』 — 特に「肌膚若冰雪」の表現を中心として —	保 莉 佳 昭	167
日本女子大学 紀要 人間社会学部 三三 (二〇・三・三)	『太平広記』鬼部説話の構成 — 鬼三十六〜鬼四十一 —	三 田 明 弘	一四〇
日本女子大学 国語国文学会 国文目白 六四 (二〇・五・一)	日中母語場面における発話の重なり後の発話権交 替と話題転換に関する考察	周 浩	175
日本のローマ字社 ことばと文字 一七 (二〇・四・四)	粵語(広東語)に特有な語形の漢字表記に見られる 特徴 — 日本国内刊行の市販語学教材を通して	吉 川 雅 之	181
日本のローマ字社 ことばと文字 一七 (二〇・四・四)	多様な白族の「文字」 — 各地域の曲本を例に	立 石 謙 次	186
日本のローマ字社 ことばと文字 一七 (二〇・四・四)	西夏文字の創製と使用の実際 — 字書に現れる文字は本当に全て使われたのか？	荒 川 慎 太 郎	191
梅花女子大学 文化表現学部 紀要 二二 (二〇・五・三)	説経「をぐり」の照手受難譚と宋代話本「陳巡検 梅嶺失妻記」 — 男女主人公の受難譚形成におけ る中国俗文学の利用について —	三 木 雅 博	197
一橋大学大学院 言語社会 一九 (二〇・五・三)	「治療」としての地方性 鄭執「仙症」を中心に	許 儀 薇	二五〇
姫路獨協大学 教職課程研究 三四 (二〇・四・二)	「外国語教学」の原点 — 中国語を例に —	奥 田 寛	204
姫路獨協大学 国際言語文化論集 六 (二〇・五・二)	敦煌故事賦「燕子賦」訳注(2) — ツバメ、スズメ一家の横暴を鳳凰に訴える —	田 村 祐 之	210
広島大学 近代文学研究会 近代文学試論 六一 (二〇・三・二)	中国における太宰治文学紹介の萌芽 — 華文雑誌 『新輪』および白雲訳「皮膚病」に着目して —	史 蕊	二五九

広島大学国語国文学会 国文学叢 二五六 (二〇一四・六)	漢語動詞「啓す」の成立過程 — 漢字「啓」字の意味の検討から —	柚木 靖史	一六五
広島市立大学教育基盤センター紀要 一 (二〇一四・一)	初級中国語教育における文化導入の実践について	藤原 優美	217
フェリス女学院大学国文学会 玉藻 五八 (二〇一四・三)	謝朓と敬亭山 — 祈雨詩群を中心に —	宋 哈	一七四
福岡大学人文論叢 五五・一 (二〇一三・九)	南朝樂府吳歌《神弦歌・道君曲》の句読について	甲斐 勝二	223
福岡大学人文論叢 五六・一 (二〇一四・六)	中国の女偏の漢字をめぐる議論について	甲斐 勝二	237
福岡大学人文論叢 五六・一 (二〇一四・六)	中国語の名詞性成分における定性と不定性に関する研究の概観	謝 平	249
福岡大学人文論叢 五六・一 (二〇一四・六)	洪子誠「当代文学の『一体化』」	甲斐 勝二 宮下 尚子 間 ふと子	262
藤女子大学国文学雑誌 一一一 (二〇一五・一)	唐詩中の使動表現小考《その二》 — 白居易「自嘲」詩の解釈 —	名 畑 嘉 則	二七九
佛教大学 文学部論集 一〇九 (二〇一五・三)	『伊朝譯評』の版本と所蔵に関する一考察	喬 昭	271
文教大学大学院 言語文化研究科紀要 九 (二〇一三・三)	『袖海編』所記の日本語をめぐる一 — 日中語集交渉史の視点から —	蔣 垂 東	280
法政大学 言語・文化センター 言語と 文化 二二 (二〇一五・一)	詩経国風の深層意義について — 邶(一) —	木村 佳代子	295
法政大学国際日本学研究所 国際日本学 二一 (二〇一四・一)	「黄粱夢」と「南柯夢」 — 能《邯鄲》における「南 柯太守伝」受容の可能性 —	李 蘇 洋	315
法政大学史学会 法政史学 一〇一 (二〇一四・九)	白居易 桑弘羊と陳寅恪	齋 藤 勝	二八六
北洋大学紀要 三 (二〇一四・三)	日本語の構文的重複語と閩南語の名詞重複語につ いて	馮 一 峰	326
北洋大学紀要 四 (二〇一五・三)	学習者が主体となる中国語教育の実践 — 少人数の初級・中級クラスの学習者を対象とし たいくつかの活動 —	陳 曦	333
北海道大学国語国文学会 国語国文研究 二六三 (二〇一四・八)	武田泰淳「淑女綺談」論 — 終戦前後の上海における女性表象 —	趙 文 軒	一九四
三重大学国際交流センター紀要 二〇 (二〇一五・三)	「さすが」に対応する中国語表現について	周 世 超	338
三重大学文学部文化学科研究紀要 人文論叢 四一 (二〇一四・三)	ケアが紡ぐ人間関係と抵抗 — 『上海寶貝』再読	花 尻 奈緒子	346
三重大学文学部文化学科研究紀要 人文論叢 四二 (二〇一五・三)	北宋中期における市井人の閑居と蔵書について	湯 浅 陽 子	二〇一
三重大学文学部文化学科研究紀要 人文論叢 四二 (二〇一五・三)	王安憶の「根」の意識 — 『小鮑莊』における仁義をめぐる一	花 尻 奈緒子	354
武庫川女子大学大学院 日本語日本文学 論叢 一九 (二〇一四・一)	白詩訳解ノート — 新釈漢文大系『白氏文集』第 一冊・第二冊(上・下)・第三冊・第四冊を対象と して —	柴 田 清 継	361
武庫川女子大学国文学会 武庫川国文 九六 (二〇一四・四)	白氏文集訳解ノート — 新釈漢文大系『白氏文集』 第十冊・第十一冊を対象として	柴 田 清 継	381

武庫川女子大学国文学会 武庫川国文 九七 (二〇二四・一〇)	白氏文集訳解ノート——新釈漢文大系『白氏文集』 第八冊を対象として——	柴田清継	391
武庫川女子大学大学院 日本語日本文学 論叢 二〇 (二〇二五・一)	白氏文集訳解ノート——新釈漢文大系『白氏文集』 第五冊・第六冊・第七冊(上・下)を対象として——	柴田清継	403
明海大学大学院 応用言語学研究 二六 (二〇二四・三)	关于日本中級汉语教育研究 ——以明海大学二年级汉语教材考察为中心——	柳宇星	417
名城大学経済・経営学会 名城論叢 二五四 (二〇二五・三)	現代中国語における「有点」+形容詞／動詞 と「有点」+名詞」のモダリティ性	村松恵子	426
明星大学研究紀要人文学部 六一 (二〇二五・三)	初級汉语教学中動詞「在」的教学设计研究	畢文涛	432
明星大学国際コミュニケーション学会 明星国際コミュニケーション研究 一六 (二〇二四・三)	「是……的」句中教材对比分析及编写建议	畢文涛	437
目白大学外国語学部開設二〇周年記念論 集 (二〇二五・一)	中国語における謝罪行為を扱った研究の文献調査	茜千里	441
目白大学外国語学部開設二〇周年記念論 集 (二〇二五・一)	中国語の比較構文における程度副詞の用法	張瓊華	452
桃山学院大学総合研究所 人間文化研究 二一〇 (二〇二四・一)	说粗俗語「去你的」	徐国玉	463
桃山学院教育大学 研究紀要 六 (二〇二四・三)	顔之推「聴鳴蟬篇」における表現志向と大江千里 『句題和歌』(千里集)との関わり	江藤高志	475
山口大学 異文化研究 一九 (二〇二五・三)	王昭君故事の日本近現代文学の人物描写への引用	阿部泰記	483
山梨大学教育学部紀要 三五 (二〇二五・一)	現代汉语「已经+動詞」与「已经+動詞+了」 的成立条件	町田茂	492
立正大学人文学部研究所年報 六一 (二〇二五・三)	写刻本『三国志』について	中川論	二〇九
立命館大学国際関係学会 立命館国際研 究 三六・一 (二〇二三・六)	紀実文学的创新尝试——現代日本の世相折射(2) ——论说+独白+借景对照体(日本人…在「绸幕」 背后》系列述评	夏刚	497
立命館大学国際言語文化研究所 立命館 言語文化研究 三六・一 (二〇二四・七)	ジャイアントパンダの名前における諸問題 ——名づけ、ピンイン表記、そのルールについて——	中西千香	550
立命館大学国際言語文化研究所 立命館 言語文化研究 三六・二 (二〇二四・一)	1950年代の台湾における通俗小説の発展 ——謎の作家金木枝と恋愛小説の類型化	張文菁	559
立命館大学国際言語文化研究所 立命館 言語文化研究 三六・二 (二〇二四・一)	現代汉语「NP了」教学方案探讨	肖海娜	567
和歌山大学 教養教育研究 一 (二〇二四・三)	銭大昕の音韻学について	楊海娜 鳥羽加寿也	573

第三分冊（歴史・政治・経済・法律Ⅰ）上

愛知大学 一般教育論集 六三 (二〇一五・三)	東亜同文書院と文部省認定	原田 和 広	1
愛知大学国際問題研究 一六三 (二〇一四・一)	盛岡市指定無形文化財「舟っこ流し」と中国「送王船」の関係に関する一考察	林 涛	9
愛知大学東亜同文書院大学記念センター報 三三三 (一〇一五・一)	清末・民国期の「会館、公所」の地域的諸相と新「商云」への対応(1) —南縁地域である雲南省の場合—	藤田 佳 久	22
愛知学院大学文学部紀要 五四 (二〇一五・三)	匈奴の祭祀について	松 下 憲 一	35
愛知教育大学歴史学大会 歴史研究 六九 (二〇一三・九)	一九一〇年代初頭の満鉄附属地における公学堂の教育施策に関する研究 —中国人児童の教育をめぐる議論に注目して—	松 婷	一
愛知教育大学歴史学大会 歴史研究 七〇 (二〇一四・九)	戦国魏安陵君小考	渡 邊 英 幸	二二
愛知県立大学 説林 七三 (二〇一五・三)	南北朝時代における蔡氏とその学術	洲 脇 武 志	二五
青山学院大学経済学大会 青山経済論集 七六・一・三・四 (一〇一五・三)	鈴木藤三郎と台湾製糖	落 合 功	43
アジア教育史学会 アジア教育史研究 三三三 (二〇一四・三)	中国共産党政権が編纂した最初の歴史教科書 —台湾法務部調査局所蔵資料について—	土 屋 洋	三六
アジア教育史学会 アジア教育史研究 三四 (二〇一五・三)	中国共産党根拠地の歴史教科書 —日中戦争をめぐる叙述の変遷を中心に—	土 屋 洋	四九
アジア経済研究所 アジア経済 六五・一 (二〇一四・六)	1930年代における国民政府の対米借款問題 —棉麦借款から桐油借款へ—	秋 田 朝 美	49
大阪公立大学東洋史論叢 一四 (二〇一四・七)	茶会と会茶から見る宋代士大夫間の交流空間	王 世 禎	65
大谷大学中学論究 二九 (二〇一四・三)	『知本提綱』に見る灌漑の技術と認識	井 黒 忍	六九
岡山大学文学部紀要 七七 (二〇一四・一)	嶽麓秦簡「遷吏令甲」考釋	土 口 史 記	76
お茶の水女子大学 お茶の水史学 六七 (二〇一五・一)	元徽三年の儀注と『宋書』・『南齊書』の関係について	戸 川 貴 行	八五
香川大学国文研究 四九 (二〇一四・九)	親子ゲンカ兄弟ゲンカは殺しあい	高 畑 常 信	九七
香川大学国文研究 四九 (二〇一四・九)	『偽古文尚書』の太甲関連記事と王肅説	古 橋 紀 宏	一〇四
学習院大学史学会 学習院史学 六一 (二〇一三・三)	出土文字史料から歴史を読む —楚簡の世界—	海 老 根 量 介	一一一
学習院大学東洋文化研究所 東洋文化研究 二六 (二〇一四・二)	懸泉漢簡の割符通送記録 —形態観察による製作技法の検討—	畑 野 吉 則	一一八
学習院大学東洋文化研究所 東洋文化研究 二六 (二〇一四・二)	清末の革命論と「国民」概念 —『游字詠編』を手がかりに	楊 際 開	83
鹿児島大学 鹿大史学 七二 (二〇一五・三)	『唐代中書門下体制研究』抄訳	高 津 孝	一三〇
鹿児島国際大学 国際文化学部論集 二五・一 (二〇一四・九)	中華郵便局の通郵と断郵(1931～1949)	森 勝 彦	98
神奈川大学 人文学研究所報 七一 (二〇一四・三)	南宋末期成書『仏説目連救母經』の図像解析初探	吉 川 良 和	105

神奈川大学 人文研究所報 七二 (二〇・四・九)	東京帝国大学における中国人留学生データの解析 —昭和初期(1927-1937年)の入学者を中心に—	周 一 川	114
神奈川大学 人文研究所報 七三 (二〇・五・三)	京都帝国大学における中国人留学生 —明治大正期(1903-1926年)の入学者を中心に—	周 一 川	135
金沢大学経済論集 四三二 (二〇・三・三)	中華民国時期江蘇省常熟県における農村経済の発展 —嚴家上村を例として—	弁 納 才 一	152
金沢大学経済論集 四三二 (二〇・三・三)	中華民国時期江蘇省太倉県における農村経済の発展 —遙涇を例として—	弁 納 才 一	168
関西大学史学・地理学会 史泉 一三九 (二〇・四・一)	中国重慶市における都市の形成・発展史 —分散的都市構造の起源—	劉 天 星	183
関西大学東西学術研究所紀要 五七 (二〇・四・七)	祢軍墓誌再論	西 本 昌 弘	一五二
関西大学東西学術研究所紀要 五七 (二〇・四・七)	『隋』追護書啓法寺碑』が出版された前後の羅振玉と内藤湖南 —書簡・題跋にみる初期民国および大正日本の「伝古」精神と技術	陶 徳 民	194
関西大学文学論集 七四・一二 (二〇・四・九)	江戸幕府と諸藩の刑法改正と明清法の影響	松 浦 章	一六〇
関西大学文学論集 七四・一二 (二〇・四・九)	「孤島」時期上海の映画館と映画説明書 —『亜細亞影訊』を例として—	菅 原 慶 乃	202
関西大学文学論集 七四・一三 (二〇・四・一二)	寛政期の長崎唐船貿易—船牌を中心に—	松 浦 章	一七四
関西大学法學論集 七三四 (二〇・三・一一)	刑法は東洋の古律に限る —旧中国律の讃美者花井卓蔵の老人免罪論—	佐 立 治 人	一八九
関西大学法學論集 七三六 (二〇・四・三)	鄭克撰『折獄龜鑑』の訳注(一)	佐 立 治 人	一九六
関西大学大学院 東アジア文化交渉研究 一七 (二〇・四・三)	徳川吉宗治世期に來日した黄檗僧	松 浦 章	215
関西大学大学院史学會 関西学院史学 五一 (二〇・四・三)	睡虎地秦簡『為吏之道』の性格をめぐる —新発見の史道書類との比較を通じて—	佐 藤 達 郎	二〇四
関西学院大学史学會 関西学院史学 五一 (二〇・五・三)	清代四川『南部県檔案』の研究動向と史料価値 —同治年間の『南部県檔案』を中心に—	水 越 知	二二〇
北九州市立大学外国語学部紀要 一五八 (二〇・四・三)	明代北辺の火器	山 本 進	222
九州大学法政学会 法政研究 九一・三 (二〇・四・一)	膠州領土地令の史的展開 —中華民国の土地改革政策との関係を中心に—	熊 野 直 樹	235
九州大学大学院人文科学研究 文学研究 一二二 (二〇・五・三)	目加田誠『中国旅行日記(一九四二年)』翻刻注 (中) —十月二十八日〜十一月十四日—	静 永 健	二二二
九州共立大学研究紀要 一五二 (二〇・五・一)	「満州国」の東部内モンゴルにおける日本語教育について	包 賀 喜 格 図	248
京都大学大学院 東アジア文明講座紀要 一 (二〇・四・一)	王勃撰『唐趙士達墓誌』注釋(上)	道 坂 昭 廣	254
京都光華女子大学真宗文化研究所 真宗文化 三二 (二〇・三・一)	中国における経典目録の生成と入蔵録	大 内 文 雄	二五七
京都産業大学日本文化研究所紀要 三〇 (二〇・五・三)	天智と周公	池 田 昌 広	二六五
共立女子大学国際学部紀要 共立国際研究 四二 (二〇・五・一)	呉文鎔の遺産—會国藩と胡林翼	浅 沼 か お り	265

金城学院大学論集 人文科学編 二〇一（二〇一四・三）	宜蘭農林学校学生動員 ―特設警備第536大隊『留守名簿』の分析	小野 純子	286
金城学院大学論集 人文科学編 二一（二〇一五・三）	19世紀中国におけるアメリカ南長老教会の女子教育と宣教師ネットワークの展開 ―アニー・E.ランドルフを中心にした分析	松谷 曄介	294
近代東西言語文化接触研究会 或間 四六（二〇一四・一二）	江戸時代の河岸問屋と清代中国の碼頭貨棧	松浦 章	307
近代東西言語文化接触研究会 或間 四六（二〇一四・一二）	佐藤一斎和来舶清人的交流	舒 志田	315
熊本大学社会文化研究 二二 （二〇一四・三）	レプリカ法による中国福建省西宮遺跡・榕山遺跡の土器庄痕調査報告	高 雅云	325
久留米大学文学部紀要 国際文化学科編 四〇（二〇一四・三）	朝鮮肅宗代の宮中儀礼にみる朝清関係（下）	桑野 栄治	二八三
久留米大学文学部紀要 国際文化学科編 四一（二〇一五・三）	朝鮮景宗代の宮中儀礼にみる朝清関係	桑野 栄治	三二六
黒川古文化研究所紀要 古文化研究 二二三（二〇一四・三）	袁氏と劉氏の作鏡活動	馬 渕 一輝	333
黒川古文化研究所紀要 古文化研究 二四（二〇一五・三）	漢・三国・西晋鏡の流入経路 ―洛陽・武昌・楽浪・倭における出土鏡の比較を中心に―	馬 渕 一輝	349
慶應義塾大学法学研究会 法学研究 九七一（二〇一四・一）	華北分離工作期における日満華提携論の一考察 ―永井柳太郎を中心に―	坂本 健蔵	三三六
慶應義塾大学大学院 法学政治学論究 法律・政治・社会 一四〇（二〇一四・三）	辛亥革命前後の露清関係悪化と日露協調	岡部 克哉	三四九
言語と交流研究会 言語と交流 二七 （二〇一四・七）	1920年代上海における児童雑誌出版事情	水野 あゆ	363
神戸大学中学年報 三八（二〇一三・六）	「満洲国」における合作社の信用事業と農村実態調査 ―浜江省綏化県を中心に―	劉 天媛	三六九
神戸大学文学部紀要 五一（二〇一五・三）	中国河套地区東部における吐谷渾・党項関連文物遺跡の調査報告	村井 恭子	368
神戸大学大学院 国際文化学 三七 （二〇一四・三）	清末期における厳修の天津音楽教育に与えた影響	楊 慧	378
神戸女子大学史学会 神女大史学 四二 （二〇一四・一）	中国北部の乾燥地帯における人間活動と水環境	小林 善文	三八五
神戸女子大学文学部紀要 五八 （二〇一五・三）	雲南の水資源と環境	小林 善文	三九七
國學院大學研究開発推進機構 日本文化 研究所年報 一六（二〇一三・九）	日本統治下台湾における宗教調査と公学校 ―大正4年宗教調査における台南庁を事例に―	原田 雄斗	388

第三分冊（歴史・政治・経済・法律Ⅰ）下

国際基督教大学アジア文化研究所 アジア文化研究 五一（二〇二五・三）	清水安三による中国伝道の実証的考察 —1913年—1924年—	金丸裕一	1
国際基督教大学アジア文化研究所 アジア文化研究 五一（二〇二五・三）	清代台湾中部山地における開発と社会 —水沙連 および埔里盆地における移住と族群関係—	菊池秀明	19
国際基督教大学アジア文化研究所 アジア文化研究 五一（二〇二五・三）	台湾南部における移民村落の「自治」と信仰 —清代鳳山県「六堆」地区における伯公と義民 祠—	菊池秀明	33
古代学協会 古代文化 七四・二 （二〇二二・九）	漢代における矯制と璽書偽造	野口優	46
古代学協会 古代文化 七四・三 （二〇二二・二）	隋唐隨身符制新探 —玄宗即位以前を中心に—	柿沼陽平	57
古代学協会 古代文化 七五・一 （二〇二三・六）	後漢中期の地方統治姿勢 —五一広場東漢簡牘を手がかりとして—	飯田祥子	68
古代学協会 古代文化 七五・二 （二〇二三・九）	淡と痰と澹 —古代インド医学と中国医学の交渉—	多田伊織	79
古代学協会 古代文化 七五・四 （二〇二四・三）	唐代定案での細白磁生産について	張睿帆	88
駒澤大学考古学研究室 駒澤考古 四九 （二〇二四・五）	殷墟期における青銅礼器の副葬配置について	田畑潤	97
駒澤大学考古学研究室 駒澤考古 四九 （二〇二四・五）	爵の命名と機能 —新出土資料による再検証—	山本堯	108
駒澤大学佛教學部論集 五五 （二〇二四・二）	隋・唐初の「仏教史」編纂 —史書・経録・類書のあいだ—	大内文雄	—
山陽学園大学・山陽学園短期大学 山陽論叢 三〇（二〇二四・三）	中外古地図上の南海諸島	班偉	121
史学研究会 史林 一〇八・一 （二〇二五・二）	弁偽の偽 —近年の金文・簡牘の偽作説をめぐって—	佐藤信弥	八
滋賀文教短期大学 紀要 一六 （二〇二四・三）	高木健夫『北京横丁』—『東亜新報』掲載時との 対照表	神谷昌史	二三
滋賀文教短期大学 紀要 一七 （二〇二五・三）	我等「満蒙屋」に非ず —加藤新吉の満洲認識について—	神谷昌史	三二
史訪会 東洋史訪 三一（二〇二四・五）	日本統治期の台北高等商業学校が果たした社会的 役割 —開校10年までの生徒の動向から—	横井香織	130
史訪会 東洋史訪 三一（二〇二四・五）	清末の「革新」妓女胡玉玉	松田郁子	139
島根大学 社会文化論集 二二 （二〇二五・三）	林玉茹著『国際貿易と文化の仲介者—政權移行下、 台南最大富裕商人王雪農の出現（1880—19 05年）—』	森田照雄 朝元雄明 ／訳	145
社会文化史学会 社会文化史学 六八 （二〇二四・三）	京都大学所蔵漢代鉄剣について	村川幸祐 村上美子	171
	清代乾隆年間における四川銅	上田裕之	178

上智大学史学会 上智史學 六九 (二〇・四・一一)	明清時期太湖南岸地方の農書にみる桑園管理技術と環境	周 大 川 裕 晴 ／ 訳 著	三八
上智大学史学会 上智史學 六九 (二〇・四・一一)	『馬首農言』試釈(二) — 水利・畜牧・備荒・織事 —	大 井 藤 村 大 上 川 裕 陽 子 澤 黒 本 公 陽 子 正 昭 忍 俊 子	五三
昭和女子大学紀要 学苑 九七八 (二〇・五・三)	清国軍艦海安号の日本来航	白 大 井 藤 村 大 上 川 裕 陽 子 春 澤 黒 本 公 陽 子 岩 正 昭 忍 俊 子	一八八
昭和女子大学文化史研究 二八 (二〇・五・三)	『三山志』成書考	小 二 田 章	一九五
聖霊女子短期大学紀要 五三 (二〇・五・三)	中国の古紙の調査 ― 明清時代の古籍を中心に ―	周 業 欣	二〇〇
専修大学人文科学研究月報 三三九 (二〇・四・七)	台湾社会と台湾基督教の歴史 — 日本植民地統治期を中心に —	堀 江 洋 文	二〇四
専修大学歴史学会 専修史学 六九 (二〇・四・一一)	関東大震災下における中国人虐殺事件の調査過程と追悼活動	小 笠 原 強	六二
大東文化大学外国語学会 外国語学会誌 五一 (二〇・三・三)	日中におけるマルクス主義の伝来と発展について の研究 ― 20世紀初頭を中心に ―	孫 宇 雷	二二三
大東文化大学紀要 六二 社会科学 (二〇・四・一一)	東洋製紙工業株式会社の中国占領地における事業展開	柴 田 善 雅	二二六
大東文化大学紀要 六三 社会科学 (二〇・五・一)	海南島占領地における銀行業の活動	柴 田 善 雅	二三六
大東文化大学紀要 六三 社会科学 (二〇・五・一)	戦時首都重慶市における衛生清掃事業、 1937～1947	内 田 知 行	二四七
大東文化大学語学教育研究所 語学教育 研究論叢 四二 (二〇・五・三)	『訳書彙編』における近代憲政概念の伝播 — 政法片片録 — の調査を中心に	吉 田 慶 子	二五八
大東文化大学歴史文化学会 大東史学 七 (二〇・五・三)	『点石齋画報』に見える科挙関連記事 — その五 — とさまざまな受驗者(障碍者 外国人)	湯 城 吉 信	八四
拓殖大学国際日本文化研究 八 (二〇・五・三)	日中戦争初期の北支那方面軍内経済委員会による 国民政府への経済的攻勢	正 田 浩 由	九一
玉川大学教育博物館紀要 二二 (二〇・五・三)	日本統治下台湾における国語講習所教科書	白 柳 弘 幸	二六六
筑紫女学園大学研究紀要 一九 (二〇・四・一)	中国における教育近代化に関する一考察	崔 淑 芬	二七四
中央大学人文科学研究所 人文研紀要 一〇九 (二〇・四・九)	明代中国における辞令をめぐる — 奏疏類収載史料の検討を中心に —	荷 見 守 義	二一〇
中央大学文学部紀要 史学 七〇 (二〇・五・三)	敝從簡『使職文獻通編』所収の足利義満と明の交 渉に関する記事	大 西 信 行	二二八
中央大学法学会 法学新報 一一一・一一二 (二〇・五・三)	岡本監輔の清国訪問中の筆談資料の解題と注釈 — 《與日本使人筆譚瑣記》 —	王 寶 平	二八二
中央大学法学会 法学新報 一一一・一一二 (二〇・五・三)	洋务运动时期海、陆军近代化差异之形成及反思	尚 小 明	二九八
中央大学法学会 法学新報 一一一・一一二 (二〇・五・三)	日中戦争後期における日本軍の戦略調整と中国共 産党の対応	姚 江 鴻	三〇九
中央大学法科大学院 中央ロー・ジャー ナル 二二・二三 (二〇・四・一二)	清代における戲殺について — 秋審との関連から —	赤 城 美 恵 子	三二二

中央学院大学法学論叢 三八・一 (二〇一四・七)	魏晉南北朝期の殺人罪と處罰	水間 大輔	一三六
中央学院大学法学論叢 三八・二 (二〇一五・一)	魏晉南朝における自殺誘起行爲の處罰	水間 大輔	一四八
中央大学文学部紀要 五八一・一 (二〇一四・三)	曹植評伝(二)	福井 佳夫	一五五
中央大学文学部紀要 五九一・一 (二〇一四・一)	曹植評伝(三)	福井 佳夫	一七六
中央大学文学部紀要 五九一・二 (二〇一五・三)	曹植評伝(四)	福井 佳夫	二〇一
筑波大学教育学系論集 四八一・一 (二〇一三・一〇)	「満洲国」成立前後の満鉄附属地の公学校における教育の郷土化 ―郷土科の内容と特徴に着目して―	松 婷	334
筑波大学大学院 歴史人類 五三 (二〇一五・三)	明治期から昭和戦前期における日本内地と中国・台湾を結ぶ定期航路	中西 僚太郎	341
帝京大学文化財研究所研究報告 二三 (二〇一五・三)	砕葉鎮城の大雲寺の位置と伽藍配置に関する試論	山内 和也	355
帝京大学文化財研究所研究報告 二三 (二〇一五・三)	砕葉鎮城と大雲寺の瓦	櫛原 功一	367
天理大学 天理参考館報 三六 (二〇一三・一〇)	中国大陸の古代熨斗(二) ―新器種誕生―前漢〜後漢時期―	江 介也	376
天理大学 天理参考館報 三七 (二〇一四・一〇)	中国大陸の古代熨斗(三) ―地域性と熨人熨斗の明器化―三国〜西晋時期―	江 介也	385
東京大学経済学部資料室年報 一五 (二〇一五・三)	東京大学経済学図書館所蔵遼代錢貨の非破壊化学分析	鈴木 義之舞	397
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八三 (二〇一三・三)	上博楚簡『申公臣靈王』と『左伝』の成立について	飯塚 量介	二二〇
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八四 (二〇一四・一)	戦史集としての『春秋左氏傳』	渡邊 義浩	二六〇
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八五 (二〇一四・三)	清代末期の地方における紛争解決組織 ―息訟公所と地方議会の制度を中心として―	木下 慎梧	二七七
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 アジア・アフリカ言語文化研究 一〇九 (二〇一五・三)	清代外藩モンゴル・ザサグ旗における文書行政 同治年間、オルドス・ハンギン旗を事例として	岡 洋樹	401
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 アジア・アフリカ言語文化研究 一〇九 (二〇一五・三)	中国国家図書館蔵BD09637号文書考 叶蕃期敦煌で行われた布施の一例	旗 手 瞳	416
東京学芸大学国語国文学会 学芸国語国文学 五七 (二〇一五・三)	清代福建喫茶文化の展開と日本伝来	梁 旭璋	二〇五
東京都立大学 人文学報 五〇一・二二 (二〇一四・三)	満洲国留学生左翼グループ事件と仲同升(駱駝生)	大久保 明男	427
東京都立大学 人文学報 五〇一・二二 (二〇一四・三)	太湖理民府の裁判檔案とその言語について(四)	落合 守和	441
東京理科大学教養教育研究院紀要 三 (二〇一五・三)	中国建国期における少数民族統合と公教育 ―朝鮮族の場合―	李 海燕	455
東北学院大学大学院 アジア文化史研究 二四 (二〇一四・一一)	老虎、美麗島に眠る… 遷台後のヨルバルスに関する二つの資料	小沼 孝博	465

第三分冊（歴史・政治・経済・法律・I）増刊

東洋大学 アジア文化研究所研究年報 五九（二〇・五・二）	1911年井上四丁台湾の旅から	野間 信幸	1
東洋大学文学部紀要 七八 史学科篇 五〇（二〇・五・三）	清末籌備立憲と藩部政策の転換 ―理藩部籌備立憲政策方針上奏文の訳註― 文明間における産業技術の伝播について ―古代日中間の交流を中心に―	千葉 正史	一
名古屋大学文学フォーラム 八 （二〇・五・三）	中国近代史学論文選訳注（続四） ―胡適「二国政研究」の方法― 等二篇―	張 睿帆	10
名古屋大学東洋史研究報告 四九 （二〇・五・三）		土屋 天驕	一四
名古屋大学法政論集 三〇二 （二〇・四・六）	「民国」への眼差しと帝国の袋小路（1） ―日中戦争期における日本の三民主義をめぐる言説の系譜―	王 同塵	19
名古屋大学法政論集 三〇三 （二〇・四・九）	「民国」への眼差しと帝国の袋小路（2・完） ―日中戦争期における日本の三民主義をめぐる言説の系譜―	王 同塵	36
奈良大学中学生会 奈良史学 四二 （二〇・五・一）	元末福建動乱考（前編） ―吳源『至正近記』に見る「赤思巴奚の乱」―	山崎 岳	三〇
奈良女子大学日本アジア言語文化学会 叙説 五一（二〇・五・三）	「殷貴妃」騒動とは何だったのか ―『宋書』から『南史』に至る歴史語りの様相―	大平 幸代	四三
奈良女子大学大学院 人間文化総合科学 研究科年報 四〇（二〇・五・三）	清末民初のジャーナリズムにみる工業化と剪辮の プロバガンダ	莊 文瀾	47
南山大学 アカデミア 社会科学編 二八（二〇・五・一）	戦時期大連の機械工業	沢井 実	56
南山大学 人類学研究研究所研究論集 一三 （二〇・五・三）	清末民初における普洱茶生産について	西川 和孝	67
南山大学 人類学研究研究所研究論集 一四 （二〇・五・三）	中国初期王朝時代における王都の成り立ち	西江 清高	81
新潟大学法学会 法政理論 五七四 （二〇・五・三）	A Brief Discussion on the Green Consciousness of Tang Dynasty	Lo, Wing Sang	111
新潟大学大学院 現代社会文化研究 七九（二〇・四・一）	近代日中における財政危機と輸出産業化政策との 関係に関する分析 ―19世紀後半の江西省と佐賀藩の陶磁器業輸出産 業化の比較を通じて―	余 子慶	117
二松学舎大学大学院 二松 三九 （二〇・五・三）	清末の北京における日本人の刊行物『燕塵』につ いて	張 付梅	五八
日本大学 桜文論叢 一二二 （二〇・五・三）	宋代軍事史研究と「東部ユーラシア」	伊藤 一馬	126
広島大学文学部論集 八四 （二〇・四・二）	漢初四分曆について	末永 高康	139
広島文教大学国文学会 文教國文學 五九（二〇・五・一）	顔真卿撰『李愬墓誌』の字体について	宮崎 洋一	七三
佛教大学 歴史学部論集 一五 （二〇・五・三）	三「国鏡」と「銅鏡百枚」 ―地域と墓主階層の視点―	門田 誠一	七九

佛教大学 歴史学部論集 一五 (二〇・五・三)	台湾の水仙尊王信仰と水仙宮	植村太善郎	151
佛教大学 歴史学部論集 一五 (二〇・五・三)	1930年代の満州における医療・衛生の状況と 植民地主義言説 ―旅行者・移住者に向けた案内書の分析―	網島聖	162
法政大学史学会 法政史学 一〇〇 (二〇・三・九)	『呂氏春秋』高誘序の著作意図 ―『史記』呂不韋列伝との内容比較から見た―	岡安勇	八九
法政大学史学会 法政史学 一〇〇 (二〇・三・九)	陳垣と桑原隲藏の西域人研究について	齋藤勝	二〇四
法政大学史学会 法政史学 一〇一 (二〇・四・三)	『鄴中記』訳注(1)	宇都宮美生	二一九
法政大学史学会 法政史学 一〇一 (二〇・四・三)	解題…『鄴中記』を読む上で鍵を握る用語 その一	平勢隆郎	一三六
法政大学史学会 法政史学 一〇二 (二〇・四・九)	『鄴中記』訳注(2)	宇都宮美生	一四八
法政大学史学会 法政史学 一〇三 (二〇・五・三)	吐谷渾伏俟城に比定される青海鉄卜加故城址につ いて―六鎮城址・仇池城址との比較により游牧 系都邑遺構の性格を考える―	塩沢裕仁	172
法政大学史学会 法政史学 一〇三 (二〇・五・三)	『鄴中記』訳注(3)	宇都宮美生	一六九
松本大学研究紀要 一二(二〇・四・三)	矢内原忠雄が見た植民地台湾の社会―『帝国主 義下の台湾』に書かなかった実態とは―	岡崎滋樹	186
武蔵野大学 グローバルスタディーズ 八(二〇・四・三)	明治末期における清国人留学生の夏休みの過こし 方―黄尊三『留学日記』を中心に―	欒殿武	194
明海大学日本語学会 明海日本語 二九 (二〇・四・三)	台湾語研究の流れとその私見	中川仁	204
明治大学人文科学研究所紀要 九二 (二〇・五・三)	元代江南における肅政廉訪司の活動に関する初步 的考察	櫻井智美	211
明治大学人文科学研究所紀要 九二 (二〇・五・三)	近代中国における教育と地域社会 ―地方教育会とそのネットワークを中心に―	高田幸男	220
明治大学東洋史談話会 明大アジア史論 集 二八(二〇・四・三)	紙の普及についての試論 ―蔡倫造紙記事と出土簡牘史料―	初山明	233
明治大学日本文学 四九(二〇・五・三)	古代中国における人名の並称一覧(唐・清)	蔡忠義	二七四
明治大学法律研究所 法律論叢 九七六(二〇・五・三)	唐代における制勅の法源性について ―唐断獄律第十八條後段の一検討―	岡野誠	二八〇
立教大学史学会 史苑 八四・二 (二〇・四・二)	胡惟庸・林賢事件についての歴史叙述 ―洪武年間の日明関係を理解するために―	大西信行	二九六
立命館大学社会システム研究所 社会シ ステム研究 四八(二〇・四・二)	戦時的越境移動與北京的城市文娛生活(1940- 1943)―以楊英風與董毅兩人的日記為中心	許育銘	243
立命館大学社会システム研究所 社会シ ステム研究 五〇(二〇・五・二)	明代『問刑条例』条文形成過程の一類型 ―参語を引用する事例の検討を通して―	豊嶋順揮	260
立命館大学社会科学システム研究所 社会シ ステム研究 五〇(二〇・五・二)	戦後台湾「中国化」政策下における「明治維新」 認識の構築―戒嚴令解除(1987)期まで―	楊素霞	273
立命館大学人文科学研究所紀要 一三七 (二〇・四・一)	北支那製鉄株式会社の成立と崩壊	長島修	285

立命館大学人文科学研究所紀要 一四一 (二〇・四・一)	軍事占領下の大陸鉄山 —金融的支配から軍事占領への転換— 長沙五一 廣場東漢簡牘譯注稿 第一層 下 (二〇三) (二一九簡)	長島 修	303
立命館大学人文学会 立命館文學 六八九 (二〇・四・八)			
立命館大学文学会 立命館文學 六九〇 (二〇・四・一〇)	長沙五一 廣場東漢簡牘譯注稿 第二層 (二二三) (二一七) (一五五七八〇) (二二三二簡)	五一 廣場東漢簡 牘研究會 章 飯田祥 角 田常 藤 本航 鷲 尾祐子	二二〇
立命館大学大学院 Core Ethics 二二 (二〇・五・三)	1930年代中国における輸血の合法性をめぐる 論争 —法律的・医学的・倫理的視点からの考察— 前秦付不正権論	王 裕 森	320
龍谷大学東洋史学研究会 東洋史苑 九八 (二〇・四・六)	元代華北における「崇教抑禪」	小 野 響	二三五
龍谷大学東洋史学研究会 東洋史苑 九九 (二〇・四・九)	前涼の西域長史・李柏に関する文書は、どのよう に読み解けばよいのか —龍谷大学所蔵の538Aと538B二文書の積 文とその文意めぐる—提言— 地方志から近代中国の地域を読む 後漢和帝の親政と外戚・宦官	藤 本 幸 音	二四五
龍谷大学東洋史学研究会 東洋史苑 九九 (二〇・四・九)		白 須 淨 眞	326
歴史学会 史潮 九三 (二〇・三・六)		佐 藤 仁 史	二五九
歴史学会 史潮 九五 (二〇・四・六)		渡 邊 将 智	二六六
和歌山大学経済学会 経済理論 四二六 (二〇・四・三)	福王弘光帝の淑女選抜について(3)	滝 野 邦 雄	343
和歌山大学経済学会 経済理論 四二七 (二〇・四・六)	福王弘光帝の淑女選抜について(4)	滝 野 邦 雄	354
和歌山大学経済学会 経済理論 四一八 (二〇・四・九)	福王弘光帝の淑女選抜について(5)	滝 野 邦 雄	369
和歌山大学経済学会 経済理論 四一九 (二〇・四・一)	福王弘光帝の淑女選抜について(6)	滝 野 邦 雄	378
和歌山大学経済学会 経済理論 四二〇 (二〇・五・三)	福王弘光帝の淑女選抜について(7)	滝 野 邦 雄	387
早稲田大学教育総合研究所 早稲田教育 評論 三八一 (二〇・四・三)	東亜同文書院のInternational Student Fellowship of Shanghai —平和と教育／運動の国際的ネットワークの視点 から— 渤海滅亡前後における刻符記号の拡散・紋様化と 広域交差編年の検証 「日清修好条規」の成立過程 —公使・領事の派遣と李鴻章— 紙本交替と中国古代基層統治の重心上昇(下)	清 水 賢 一郎	397
早稲田大学考古学会 古代 一五一・ 一五二 (二〇・四・一)		柳 澤 清 一	407
早稲田大学商学同攻会 文化論集 六三 (二〇・四・三)		白 春 岩	434
早稲田大学東洋史懇話会 史滴 四四 (二〇・三・一)		張 栄 強 小 林 文 治	二七八

早稲田大学東洋史懇話会 史滴 四五
(二〇三・一一)

古代中華帝国形成期における財政の変容
―前四世紀後半から前一世紀を中心に―(上)

マキシム・コロルコフ 二八六

柿沼陽平著

平日林坂優一監訳

早稲田大学東洋史懇話会 史滴 四六
(二〇四・一一)

『史記』と出土文献における秦の二世皇帝

陳侃理 二九三

柿沼陽平著

早稲田大学東洋史懇話会 史滴 四六
(二〇二・四・一一)

周王朝の「文王」の「文」と「経緯天地曰文」の源流について ―「文」の意味したもの―

豊田久 三〇一

早稲田大学東洋史懇話会 史滴 四六
(二〇二・四・一一)

古代中華帝国形成期における財政の変容
―前四世紀後半から前一世紀を中心に―(中)

マキシム・コロルコフ 三二三

柿沼陽平著

日坂優一監訳

早稲田大学東洋史懇話会 史滴 四六
(二〇二・四・一一)

中華民国時期江蘇省無錫県崇巷鎮における農村経済の発展
―小丁巷・鄭巷・楊木橋3ヶ村を例として―

弁納才一 459

第四分冊（歴史・政治・経済・法律Ⅱ）上

愛知大学国際コミュニケーション学会 文明二一五四（二〇一五・三）	中国のサイバー外交を導く『サイバー空間国際協力戦略』	周 橋	1
愛知学院大学 経済研究所所報 五 （二〇一五・一）	中国・韓国・日本の電気自動車（EV）普及の現状と政策	李栗 藤川 清史 栗 黄 顯洋	11
愛知県立大学人間の尊厳と平和のための 人文社会研究所 人文社会論叢 四 （二〇一五・三）	教員の学歴から見る中国における教育の地域間格差	柴 田 陽 一	23
愛知淑徳大学論集 ビジネス学部・ビ ネス研究科篇 二二（二〇一五・二）	『中国統計摘要』データに対する財務分析手法試 案——2000年～2023年までの工業企業 動向を中心として——	西 崎 賢 治	27
青森中央学院大学地域マネジメント研究 所研究年報 二〇（二〇一四・二）	中国における科学技術戦略の展開経路	劉 敬 文	47
青山学院大学国際研究センター Aoyama Journal of International Studies 二二（二〇一五・一）	習近平時代の政策プロセスの計量テキスト分析	林 載 桓	59
アジア経済研究所 アジア経済 六五・三 （二〇一四・九）	台湾における環境行政組織の成立——1971年 行政院衛生署・環境衛生處の設立——	寺 尾 忠 能	71
アジア経済研究所 アジア経済 六五・四 （二〇一四・一）	中国における失業の消滅と現実 ——精簡政策の実施過程を中心に——	許 楽	90
アジア経済研究所 アジア経済 六六・一 （二〇一五・三）	比較政治学は習近平一強体制の登場を説明できる か——権威主義体制における権力の個人化の条件 とメカニズム——	林 載 桓	106
アジア経済研究所 アジア動向年報 二〇一四（二〇一四・五）	三つともえの総統選挙と活発な実務外交	池 清 上 水	118
アジア政経学会 アジア研究 七〇・一 （二〇一四・一）	中国の台湾研究者による台湾政策論（2000— 2022）「話語権」をめぐる議論に着目して	深 申 徹	133
アジア政経学会 アジア研究 七〇・四 （二〇一四・一〇）	1980年代の対外開放における省市間関係 大連開放と条塊関係の変動	早 田 寛	141
アジア政経学会 アジア研究 七〇・四 （二〇一四・一〇）	台湾 グローバル化のなかの半導体製造の集中と 脱グローバル化における強い分断	佐 藤 幸 人	150
アジア政経学会 アジア研究 七〇・四 （二〇一四・一〇）	中国における需要拡大型の産業政策 理論的考察 とその評価	梶 谷 懐	158
亜細亜大学 都市創造学研究 九 （二〇一五）	米中対立とアジア・国際秩序の将来 対峙するイ ンド太平洋システムと中国	佐 橋 亮	166
跡見学園女子大学文学部紀要 五九 （二〇一四・三）	中国自動車市場の変容 ——早くも需要成熟化が始まったのか？	後 藤 康 浩	172
江戸川大学紀要 三五（二〇一五・三）	米中対立の行方と台湾情勢 ——「競争の管理」と対話の継続が生み出す世界——	笹 島 雅 彦	176
大阪大学法学会 阪大法学 七四・五 （二〇一五・一）	中国における行政不服審査制度の変容（1）	小 口 彦 太	185
大阪大学法学会 阪大法学 七四・六 （二〇一五・二）	中国における行政不服審査制度の変容（2・完）	姜 欣 辰	213

大阪公立大学法学雑誌 七一・二 (二〇・四・一〇)	中華人民共和國民法典 第二編 契約(2) (2020年5月28日第13期全国人民代表大會 第3回會議で制定、2021年1月1日施行)	王 ／ 訳晨	227
大阪公立大学法学雑誌 七一・三・四 (二〇・五・三)	中華人民共和國民法典 第三編 契約(3) (2020年5月28日第13期全国人民代表大會 第3回會議で制定、2021年1月1日施行)	王 ／ 訳晨	246
大阪公立大学大学院 都市文化研究 二七 (二〇・五・三)	山東省における映画配給制度の確立と発展につい て	趙 晟	265
大谷大学真宗総合研究所研究紀要 四二 (二〇・五・三)	台湾におけるカトリック教会と中絶の政教関係 ―優生保健法の制定をめぐる―	陳 宣 聿	271
岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 五八 (二〇・四・一一)	中国民法典成立後の債権者代位訴訟の手続法問題	王 燕 翎	284
岡山商科大学学会 岡山商大論叢 五九・三 (二〇・四・三)	中国における地域間所得格差に関する一考察 ―コロナ禍の動向を中心に―	渡 邊 憲 二	294
お茶の水女子大学中国文学会報 四二 (二〇・三・四)	コロナ禍における中国のスローガン	郭保 坂 雲 律 子	302
学習院大学 人文科学論集 三三 (二〇・四・一〇)	「条漫」はなぜ中国ウェブマンガ市場の主流に なったのか ―中国ウェブマンガの発展背景と 現状―	楊 煥 雅	309
鹿児島国際大学 国際文化学部論集 二五・四 (二〇・五・三)	ミャンマーの中華系不管地の顕在化 ―シヤン州を中心として―	森 勝 彦	328
活水女子大学 活水論文集 六八 (二〇・五・三)	蘇州における日本語人材需要と職業教育の変革 ―蘇州高博職業学院の取り組みを通して―	細 海 眞 二 高 夢 行 佳	348
関西大学社会学部紀要 五六・一 (二〇・四・九)	国民法官制度の実施状況に関する中華民国(台湾) 司法院からの聞き取り調査報告	澤 敏 博	360
関西外国語大学 研究論集 一一〇 (二〇・四・九)	台湾における自営業者をめぐる安全衛生法制度に 関する一考察	藤 田 政 博	367
神田外国語大学紀要 三七 (二〇・五・三)	台湾における国際結婚家族の多元的社会的統合 ―ベトナム・ルーツの多文化家族を支える中間圏 の役割―	岩 井 美 佐 紀	377
北九州市立大学外国語学部紀要 一六〇 (二〇・五・三)	台湾産果物輸出の対中依存度に関する考察 ―レンプの事例―	下 野 寿 子	388
岐阜市立女子短期大学研究紀要 七四 (二〇・四・一一)	「China Travel」トレンド現象から中国のインバ ウンドを読み解く	王 張 璋	396
九州大学法学部政治研究会 政治研究 七二 (二〇・四・三)	中国の改革開放における日本の官庁エコノミスト の影響―日本人顧問団の訪中と日中経済知識交 流会の立ち上げ―	顧 揚	一
九州共立大学研究紀要 一五一 (二〇・四・九)	中国テレビメディアのCM業種割合についての分 析 ― CCTV-1と江苏卫视を調査対象にして	吉 松 孝	404
京都外国語大学ラテンアメリカ研究セン ター紀要 二四 (二〇・四・一一)	国交切り替え後の中国によるアプローチ…ニカラ グア・ホンジュラスの比較	浜 端 喬	409
京都産業大学法学会 産大法學 五八・四 (二〇・五・一)	中国における未成年者による法律行為の効力に関 する裁判例の考察	孟 慶 廉	417
京都女子大学 現代社会研究 一六 (二〇・四・一)	BRICS諸国の「脱ドル化」策の現実と中国の 対外金融の限界 ―中国は「ドル本位制」下の「最後の貸し手」か―	鳥 谷 一 生	465
京都女子大学人文学会 人文論叢 七三 (二〇・五・三)	酒文化に関する日中の比較社会学的考察 ―日本酒と青稞酒を事例として―	姜 紅 祥	475

京都女子大学大学院 現代社会研究科論集 一八 (二〇一四・三)	「ドル本位制」下、人民元「国際化」と香港金融資本・為替市場の役割 —米中金融協力と対立の行方—	鳥谷 一生	497
京都文教大学 こども教育学部研究紀要 四 (二〇一四・九)	香港国家安全維持法が教育に与える影響	橋本 祥夫	508
共立女子大学・共立女子短期大学総合文化研究所紀要 三二 (二〇一五・一)	対外中国語教育と国家シンボル —“中国的”対外文化政策にみる兩岸関係—	菅野 敦志	513
近畿大学短大論集 五七・一 (二〇一五・一)	中国における「新小売」研究について	柳 偉達	521
金城学院大学論集 社会科学編 二二・一 (二〇一四・九)	中国の介護保険制度「デザイン」に関する総合的考察 (下)	王 文亮	527
熊本学園大学付属海外事情研究所 海外事情研究 五二 (二〇一五・三)	頼清徳政権期台湾における「二重の正統性」と国会改革問題	田上 智宜	537
久留米大学法学 八九 (二〇一四・四)	中国の新権威主義・再考	小竹 一彰	542
久留米大学法学 九〇 (二〇一四・二)	社区の規模からみる一党支配 中国式民主に基づく「コミュニティ」建設	橋本 誠浩	550
慶應義塾大学法学研究会 教養論叢 一四六 (二〇一五・一)	現代中国における大区制度の復活 —大躍進政策と協作区の設置—	磯部 靖	565
慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 社会学心理学教育学 人間と社会の探究 九八 (二〇一四・一二)	中国における開放制教員養成制度の導入とその実際 —北京師範大学の事例に着目して—	曹 映雪	593
慶應義塾大学大学院 法學政治學論究 法律・政治・社会 一四四 (二〇一五・三)	誰が中国に外資を誘致するのか —2000年代瀋陽市における地方指導者と官僚部門—	早 田 寛	603
神戸大学経済経営学会 国民経済雑誌 二二・一二 (二〇一四・六)	需要拡大型の産業政策とその歴史的背景・中国の事例より	梶 谷 懐	621
神戸大学大学院 国際文化学 三八 (二〇一五・三)	中国のゲームコンテンツ審査基準がホラーゲームの表現に与える影響 —日米レーディングシステムとの比較を通じて—	黄 軒 祺	630
神戸大学大学院国際文化学研究科紀要 国際文化学研究 六二 (二〇一四・九)	毛沢東の個人独裁と「集団指導」(1955-58) —政治局・常務委員会データから—	谷 川 真一	642
神戸大学大学院法学研究会 六甲台論集 (二〇一五・三)	中国における生態環境損害賠償訴訟制度の基礎理論	陳 瑶 瑶	660
国士館大学大学院政経論集 二六 (二〇一五・三)	中国発多国籍企業の人的資源管理に関する研究 サーベイ	史 嘉 倫	678
駒澤大学 駒澤法学 二四・一二・四 (二〇一五・三)	国際法中国学派探求の深層構造 —能動的なローマン主義の展開による平和的台頭の固め—	王 志 安	691
埼玉大学紀要 教養学部 六〇・二 (二〇一五・三)	高氏兄弟 —臨界から—	牧 陽 一	715
山陽学園大学・山陽学園短期大学 山陽論叢 三二 (二〇一五・三)	中国における愚民政策と国民性劣化との関係性 (上)	班 偉	722
静岡大学情報学研究 一九 (二〇一四・三)	中国の社会信用システムから見る個人情報とプライバシー—権保護—	伊 夢 瑛	730
島根大学 経済科学論集 五〇 (二〇一四・三)	中国におけるライブコマース市場の経済効果の推計	張 麟 夫	742
下関市立大学 Journal of Intelligence Science in Local Research 一一 (二〇一四・九)	中国企業による海外農業投資がカンボジア農業生産に与える影響について —経済土地専利用権を通じて商業用農産物生産の事例から—	劉 澤 文	761

第四分冊（歴史・政治・経済・法律Ⅱ）下

下関市立大学大学院 教育経済学研究 七（二〇一五・一）	中国の新規学卒者における教育過剰の現状と今後の課題	金子 于 珉 智 闊	1
淑徳大学教育学部・経営学部・地域創生 学部研究年報 七（二〇一四・三）	COVID-19の中国民間航空への影響	白 井 昭 彦	6
上智大学アジア文化研究所 上智アジア 学 四二（二〇一四・二）	辺境地域の民族に対する国境管理の影響 —中国・ベトナム国境地帯のチワン族を事例として—	柯 燁 佳	25
成城大学法学会 成城法学 八九 (二〇一三・三)	満洲日系大学の戦後同窓会に関する歴史社会学的考察(上) —各同窓会における満洲記憶について—	韓 美 怡	35
成城大学法学会 成城法学 九〇 (二〇一三・三)	満洲日系大学の戦後同窓会に関する歴史社会学的考察(下) —各同窓会における満洲記憶について—	韓 美 怡	66
専修大学経営学五 専修経営学論集 一七 (二〇一四・三)	Going Back to the Basic of Consumption in Demographic Changes: with Special Reference to the Rural-Urban Gap in China	Wen GAO Yulong WANG Jiangping Li Bin Ni	99
専修大学社会科学研究所 社会科学年報 五九 (二〇一五・三)	中国における政府間財政関係 —政府間財政移転の変遷と現状	劉 志 誠	105
専修大学商学研究 五六一四 (二〇一五・一)	アジア通貨危機(1997-1998)と中国の インフラプロジェクト	小 林 守	114
仙台百百合女子大学紀要 二九 (二〇一五・三)	中国の義務教育における金融経済カリキュラムの 構造と特徴	呂 光 曉	122
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 七二四 (二〇一三・七)	米国の対中半導体規制と台湾有事	門 間 理 良	一
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 七二二 (二〇一四・五)	総統選挙と「台湾アイデンティティ」	門 間 理 良	九
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 七二五 (二〇一四・九)	発展を阻む地政学というコスト	富 坂 聰	一六
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 七二二 (二〇一五・三)	「新冷戦」への経済対応	田 中 修	二五
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 七二二 (二〇一五・三)	トランプ政権始動後の中台関係	門 間 理 良	三三
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 七二二 (二〇一五・三)	トランプ2・0で中国が狙う相対化	富 坂 聰	四〇
拓殖大学論集 政治・経済・法律研究 二七一 (二〇一四・一〇)	中華人民共和国民法典契約編の試訳(上) —1999年中華人民共和国契約法および関連司 法解釈からの改正点・対照資料として—	長 友 昭	130
拓殖大学論集 政治・経済・法律研究 二七一 (二〇一五・三)	中国の不動産登記における公証義務の位相 —不動産統一登記で交錯する法・政策・登記・裁 判実務の視点から—	長 友 昭	145
拓殖大学論集 政治・経済・法律研究 二七一 (二〇一五・三)	中華人民共和国民法典契約編の試訳(下) —1999年中華人民共和国契約法および関連司 法解釈からの改正点・対照資料として—	長 友 昭	156
千葉商科大学経済研究所 国府台経済研 究 三四 (二〇一五・三)	「慢就業」からみる中国若者の労働観と若者支援 政策	朱 珉 珉	178
中央大学企業研究所 企業研究 四六 (二〇一五・一)	中国型企業統治モデルの制度分析 —脱アジア型システムに伴う市場ベース型資本主 義の成立過程—	内 橋 賢 悟	186

中央大学 経済研究所年報 五六 (二〇・四・一〇)	新エネルギー自動車産業への取り組み — 中国からの証拠 —	程 天 敏	199
中央大学社会科学研究所年報 二七 (二〇・三・九)	内モンゴル東部農村地域におけるモンゴル族男性 の結婚難 — 出稼ぎ活動を手がかりに —	烏 英 嘎	214
中央大学人文科学研究 人文研紀要 一〇八 (二〇・四・九)	中華人民共和国重慶市及び四川省における方言番 組をめぐる政策について(2)	小 田 格	223
中央大学 政策文化総合研究所年報 二七 (二〇・四・九)	中央銀行デジタル通貨の台頭 — デジタル人民元 (e-CNY) の発展と課題に関する考察 —	程 天 敏	236
中央大学 白門 七六・八五九 (二〇・四・七)	粤港澳大湾区(グレート・ベイエリア) 構想と言語 をめぐる諸相	小 田 格	246
中央大学論集 四六 (二〇・二五・二)	中華人民共和国国家通用言語文字法の改正動向	小 田 格	249
中央大学 大学院研究年報 五四 文学 研究科篇 (二〇・五・二)	結婚難時代を生きるモンゴル人男性たちの「出会 いと結婚」の語り — 内モンゴル東部農村地域における事例研究 —	烏 英 嘎	257
中央大学 大学院研究年報 五四 法学 研究科篇 (二〇・五・二)	日中収賄罪の比較研究 — 保護法益を中心に —	倪 国 仁	265
都留文科科大学研究紀要 一〇一 (二〇・五・二)	中国・東南アジア大陸部における領域性の生成に 関する予備的考察	峯 田 史 郎	276
東海大学国際文化学部 紀要 一七 (二〇・五・二)	北京地下鉄駅名考尋④13号線	松 木 民 雄	285
東京大学 東洋文化研究所紀要 一八五 (二〇・四・二)	「意思自治」の限界 — 中国の民事事件における 公序良俗条項の適用 —	李 貌	296
東京都立大学法学会 法学会雑誌 六四・二 (二〇・四・二)	人身売買罪における保護法益 — 日本法との比較 と中国法改善への示唆を中心として —	原 睿	312
東京都立大学法学会 法学会雑誌 六五・一 (二〇・四・七)	日本「亲告罪」与中国「亲告罪」 — 刑法・刑事訴訟法・刑事政策交錯の比較法考察	杨星 周 佳 译 伟 郎	330
東京都立大学法学会 法学会雑誌 六五・二 (二〇・五・二)	中国刑法における違法性の意識及びその可能性に 関する考察	劉 旅 通	336
東京都立大学法学会 法学会雑誌 六五・二 (二〇・五・二)	中国刑法におけるAI責任主体性研究の現状	范 鈺	355
同志社大学社会学会 評論・社会科学 一五〇 (二〇・四・九)	中国西南部における非公認教会の福祉活動に関す る研究 — 5つの「新興家庭教会」の事例をもとに —	羅 傑 夫	373
同志社大学社会学会 評論・社会科学 一五一 (二〇・五・二)	中国都市部社区居家養老サービス「医養結合」の 現状と課題 — 文献レビューから —	張 芝 菱	388
同志社大学商学会 同志社商学 七六・三 (二〇・四・一)	台湾・台北のクラフトビル事情	関 智 宏	400
東北大学東北アジア研究センター 東北 アジア研究 二九 (二〇・二五・二)	中国における公訴時効(訴追時効)制度の運用実態 の分析 — 北大法意で2013年5月5日 2014年年末判決までの資料を素材として —	高 橋 孝 治	407
東北大学大学院 東北人類学論壇 二三 (二〇・四・二)	不確実な未来のための生活戦略 上海の工場で働 く出稼ぎ労働者を事例に	楊 会 林	413
東洋大学 経営論集 一〇四 (二〇・五・二)	Telework Implementation and Employee Acceptance: Insights from Japan and China	Yijing Xu	424
東洋大学 福祉社会デザイン学研究 二 (二〇・五・二)	中国上海市における社区居家養老サービス実践の 推進過程に関する研究 — 行政機関と民間事業者 の連動に焦点をあてて —	孫 心 悦	430

東洋学園大学 現代経営経済研究 六・二二 (二〇一五・三)	後発・先発C2C-ECCプラットフォームの顧客 知覚価値の差異に関する実証研究… 「得物」とタオバオの比較から	李 李 新 閻 建	438
常磐会学園大学 研究紀要 二五 (二〇一五・三)	台湾で建設された鉄道自動車併用橋に関する一考 察	井 上 敏 孝	449
徳島大学 人間社会文化研究 三二 (二〇一四・一二)	在台灣山東人返郷探親の旅…ガイドブックと旅行 記の資料的価値	荒 武 達 朗	456
富山大学 地域生活学研究 地域生活学 研究 一六 (二〇一五)	少数民族村落出身大卒者の就業傾向とその特徴 ―中国雲南省のペー族1村落を例として―	雨 森 直 也	471
豊橋技術科学大学 雲雀野 四七 (二〇一五・三)	パブリシティ価値の法的保護について ―中国における法制と裁判の視点から―	蔡 万 里	476
長崎大学 多文化社会研究 一一 (二〇一五・三)	国有企業改革期における中国東北地方失業者の日 本への移動メカニズムに関する研究―ミクロ・メ ゾ・マクロの視点から	張 龍 龍	484
長崎県立大学 研究紀要 九 (二〇一四・一二)	パンデミックから回復へ 中国における外国人観 光客誘致政策の変遷と展望	村 上 昂 音	497
長崎県立大学 国際交流研究センター 国際研究評論 一 (二〇一五・三)	現代中国農村における「共同関係」論再考	内 山 雅 生 祁 建 民 生	502
長崎国際大学 観光学論集 二〇 (二〇一五・三)	中国杭州西湖風景名勝区名人故居の現状と課題	陳 沛 霖	513
長崎国際大学 観光学論集 二〇 (二〇一五・三)	中国の文化財保護の歴史に関する研究	張 子 玉	519
長崎国際大学 観光学論集 二〇 (二〇一五・三)	中国の「双减」政策における博物館教育の現状と 課題	余 乾 生	524
長崎国際大学 観光学論集 二〇 (二〇一五・三)	中国における「高齢者の介護法制」の体系化(上)	余 乾 生	529
長崎国際大学 観光学論集 二〇 (二〇一五・三)	中国における「高齢者の介護法制」の体系化(下)	余 乾 生	536
長野県立大学 こども学研究 七 (二〇一五・三)	中国の小学校の就学手続き ―「公平」、「公正」は保障されるか―	木 山 徹 哉	542
名古屋大学 高等教育研究センター 名古 屋高等教育研究 一四 (二〇一四・三)	Higher Education Internationalization in Taiwan: New Developments in the Context of Geopolitical and Social Changes	Jason Cheng-Cheng YANG	554
名古屋大学 立大学大学院 人間文化研究 四一 (二〇一四・一)	1940-1960年代台湾における奨学金	山 田 美 香	567
奈良女子大学 史学会 寧楽史苑 七〇 (二〇一五・一)	中国近代化試論―孫文・蒋介石・毛沢東―	八ヶ代 美 佳	四八
南山大学 人類学研究 研究所論集 一三 (二〇一五・三)	中国農村部におけるECC集積地の形成と発展のダ イナミズム ―義烏のECC村を事例に―	王 李 瑞 雪	579
南山大学 人類学研究 研究所論集 一三 (二〇一五・三)	若者の「味」―潮州と深圳から見る中国都市部 の若者世代の感覚と社会消費の「品味」―	張 静 紅 張 雅 紅 藤 川 美 代 ／ 監 訳 子	589
南山大学大学院 南山論集 五一 (二〇一五・三)	中小企業金融政策に関する一考察 ―中国と日本を比較して―	TIAN XIN	597
新潟大学 法学会 法政理論 五七・一 (二〇一四・六)	米中ソ「戦略三角形」の起源と終結(上)	牛 康 樹 ／ 著 軍 樹	611

第四分冊（歴史・政治・経済・法律Ⅱ）増刊

日本大学通信教育部 研究紀要 三七 (二〇・四・三)	戦後日本における上海史研究について —日本上海史研究会の活動を中心に—	高網博文	1
日本大学法学部新聞学研究所 ジャーナリズム&メディア 一三二 (二〇・四・三)	海峡兩岸・太極拳の世界	山本賢二	7
日本大学法学部新聞学研究所 ジャーナリズム&メディア 一四 (二〇・五・三)	海峡兩岸・曾虛白(主編)『中國新聞史』について	山本賢二	15
日本大学大学院法学研究年報 五四 (二〇・五・一)	著作権法における創作性要件に関する一考察 —日中の法・裁判例を比較して—	馬凱琳	20
日本福祉大学研究紀要 現代と文化 一四九 (二〇・四・九)	日本に滞在する中国人の商習慣 —中華料理店の経営の事例より—	川村潤子	50
阪南大学学会 阪南論集 社会科学編 六〇一 (二〇・四・八)	コロナ禍前後の中国スキー事情	桜田照雄	57
一橋大学 言語文化 六一 (二〇・四・二)	台湾のパブリック・ヒストリーの実践に関する一考察	洪郁如	63
一橋大学大学院 一橋法学 一三二一 (二〇・四・四)	現代中国の犯罪報道についての研究 —「公正な裁判」の視点から—	劉文雯	73
一橋大学大学院 一橋法学 一三二二 (二〇・四・八)	日中両国の死刑適用基準の比較研究 —同じ死刑存置国なのに、なぜ中国の死刑適用が多いのか—	趙悦陽	94
一橋大学大学院 一橋法学 一三二三 (二〇・四・二)	「台湾独立派激論意見」と「民主	但見亮	121
一橋大学大学院 一橋法学 一三二三 (二〇・四・二)	複数の主体が関与する特許権侵害に関する中国の近時の裁判例 —同一の特許権に関する二つの事件の比較を通じた考察— 2018年3月28日北京市高級人民法院(2017)京民終454号 2022年12月30日最高人民法院(2022)最高法知民終817号	洗理恵	137
兵庫県立大学環境人間学部研究報告 二七 (二〇・五・三)	中国建国初期の若手党幹部の自己教育	鄭成	149
広島大学大学院 幼年教育研究年報 四六 (二〇・四・一〇)	中国における入戸託育の実態に関する研究 —コロナ感染拡大の影響を踏まえて—	陳映敦 七木田	154
広島文教大学紀要 五九 (二〇・四・二)	台湾におけるスクールソーシャルワーカー導入の歴史的展開	川瀬瑠美	158
平成国際大学法政学会 平成法政研究 二九一 (二〇・四・二)	二〇二四年台湾総統・立法院選挙にみる有権者意識と党勢 —「藍白合」の影響と民進党の「敗北」の実態—	浅野和生	—
平成国際大学法政学会 平成法政研究 二九一 (二〇・五・三)	鴻海精密工業の中国進出と脱中国 —日本の製造業は鴻海とどう向き合うのか—	漆畑春彦	163
法政大学経済学部学会 経済志林 九一・二 (二〇・四・九)	Impact of Urban and Rural Resident Basic Medical Insurance Reform on Household Consumption Diversity in China	Xinxin Ma Shuheng Yu Peng Zhan	181
法政大学経済学部学会 経済志林 九一・四 (二〇・五・三)	中国企業の所有形態への不完備契約アプローチ… 民進国退vs国進民退の全体像を捉える枠組み	鈴木江豊	201
法政大学経済学部学会 経済志林 九一・四 (二〇・五・三)	中国における国有企業・民営企業間の賃金格差を寡占理論モデルで説明する…日米中の比較分析も視野に	鈴木江豊	229
法政大学法學志林協會 法學志林 二二・四 (二〇・五・三)	現代中国監察制度論	通山昭治	238

北海商科大学論集 一四一 (二〇・五・一)	中国の内蒙古自治区の電力産業の展開(一) —社会主義計画経済体制下(1947〜1978 年)—	劉 玟	250
北海商科大学論集 一四一 (二〇・五・一)	中国の内蒙古自治区の電力産業の展開(二) —「改革開放」期の国有企業改革と「西電東送」 からの考察(1979〜2010年)—	劉 玟	258
北海道大学大学院 北大法政ジャーナル 三一(二〇・四・二)	中国におけるセクシュアル・ハラスメント法理の 形成 —フエミニズムからみた法理の形成過程—	袁 傑	268
武蔵野大学 (二〇・四・三)	Confucius on the Road: the Mechanism of and the Interplay Between the Confucius Institute and the Belt & Road Initiative	Albert R. Zhou	285
武蔵野大学 (二〇・五・三)	Policy, Power and Competitiveness: Observations on the Global Influence of Chinese	Albert R. Zhou	292
名城大学紀要 二九(二〇・二五)	中国広西チワン族自治区の北部湾における観光振 興と政策 —民族文化「三月三」の活用可能性と観光連携— 方言の活用をめぐる「選択」と「意識」 —中国上海市南郊外の取り組みを例として— Nvidiaのビジネスモデルとトランスフォーミング —台湾コネクションの形成からAI革命まで—	梁 谷 瓊 英 健太郎	300
明治学院大学教養教育センター紀要 カルチュラル 一八(二〇・四・三)	Evaluation of the Emission Reduction Effects of China's Carbon Emissions Trading Pilot Scheme	Yishu Ling Weisheng Zhou	322
名城大学経済・経営学会 名城論叢 二五・二(二〇・五・三)	中国女訓書に見える男女間秩序	松 田 恵美子	二〇
名城大学法学会 名城法学 七四・四 (二〇・五・三)	台湾における性／別憲政主義 —女性運動・憲法と国際人権法挾撃の成功過程	張 文 貞 松 田 恵美子 訳 著	二八
名城大学法学会 名城法学 七四・四 (二〇・五・三)	中国建築業における建築従業員の就業実態 —河南省S市における建築従業員アンケート調査 から—	李 来 一 島 二 鋒	332
桃山学院大学経済経営論集 六六・二 (二〇・四・一〇)	中国における農業と化学肥料の投入拡大と土壌汚 染	大 阮 一 毅 島 二 力	343
桃山学院大学経済経営論集 六六・二 (二〇・四・一〇)	中国における果実流通問題の現状と課題 —青島 市L区X村における桜桃流通を事例として—	大 鍾 一 貽 島 二 筱	354
桃山学院大学経済経営論集 六六・三 (二〇・五・一)	農村の教育インフラ整備による村外移動労働力の 就業改善 —河南省淮浜県Q村の事例を中心に—	大 楊 一 嘯 島 二 宇	362
桃山学院大学経済経営論集 六六・三 (二〇・五・一)	中国人労働力の日本への派遣の現状および在留資 格選択に関する分析 —岐阜県の監理団体の事例を中心に—	大 符 一 二 島 二 源	374
桃山学院大学経済経営論集 六六・四 (二〇・五・一)	中国におけるトウガラシの流通・販売の現状と課 題 —眉山市P区の事例を中心に—	大 島 一 二 島 一 二	390
桃山学院大学社会学論集 五八・二 (二〇・五・一)	中国・ゼロコロナ政策の変容過程と民意の変化 —雲南省滞在の外国人の視点と経験から—	雨 森 直 也	401
大和大学研究紀要 政治経済学部編 一〇(二〇・四・三)	「台湾有事論」とアジアにおける共通の安全保障 —ポスト・ソブリン主義からの考察—	森 彰 夫	411
横浜国立大学都市イノベーション研究院 常盤台人間文化論叢 一一・一 (二〇・五・三)	東アジアにおける若者の「セクシュアリティ教育」 に関する考察 日本・中国を事例に	牛 夢 婷	421
横浜国立大学横浜法学会 横浜法学 三二・三(二〇・四・三)	中国法の居住権制度の運用における配偶者の居住 保護上の法的効果について	張 凱	434

横浜国立大学横浜法学会 横浜法学 三三・一 (二〇・四・九)	中国法における「分家析産」制度の運用と高齢者の居住の保護について	張 凱	452
立教大学大学院法学研究 五二 (二〇・四・九)	所有権留保の法的構成 ― 日中の比較を中心に ―	楊 紫 坤	463
立正大学経済学会 経済学季報 七四・二 (二〇・四・一〇)	中国の対外開放モデルを再考する ― 海外直接投資の行方を中心に ―	苑 志 佳	485
立正大学経済学会 経済学季報 七四・三 (二〇・四・一一)	中国電気自動車産業の産業政策に関する研究	苑 志 佳	504
立正大学文学部論叢 一四八 (二〇・五・三)	台湾油症事件の被害の実態と油症政策の変遷	堀 田 恭 子	524
立命館大学経済学会 立命館経済学 七三・四 (二〇・五・三)	中国における社区養老サービスの現状と課題 ― 介護保険制度試行下の吉林省長春市の事例を中心として ―	王 逾	536
立命館大学国際関係学会 立命館国際研 究 三六・三 (二〇・四・一)	纪实文学的创新尝试 现代日本的世相折射(3) ― 论说+独白+借景对照体《日本人…在“绸幕” 背后》系列述评	夏 刚	546
立命館大学国際関係学会 立命館国際研 究 三七・一 (二〇・四・六)	纪实文学的创新尝试 现代日本的世相折射(4) ― 论说+独白+借景对照体《日本人…在“绸幕” 背后》系列述评	夏 刚	590
立命館大学国際地域研究所 立命館国際 地域研究 五九 (二〇・四・一〇)	From “Two-state” Theory to 1992 Consensus: An Analysis of the KMT's Mainland China Policy Process with Allison's Models	Yang Zhou	621
立命館大学人文学会 立命館文学 六九・〇 (二〇・四・一〇)	戦後台湾高等教育機関日本語学科小史(一) ― 鳥有から勃興へ ―	岡 崎 幸 司	632
立命館大学政策科学会 政策科学 三三・一 (二〇・五・一)	The Diversity of Long-Term Care Systems in Japan and China Over the Past Two Decades	Yu Yang	639
立命館大学法学会 立命館法学 四一〇 (二〇・四・一)	劉憲権 メタバース空間における犯罪の刑法的規制の新たなアプローチ	孫 孝 文 ／ 監 訳	645
立命館大学法学会 立命館法学 四一三 (二〇・四・六)	吳允鋒 中国「刑法改正法(十二)」における民間 企業の内部関係者の背任罪に関する改正と適用	孫 孝 文 ／ 監 訳	656
立命館大学法学会 立命館法学 四一五 (二〇・四・一一)	中国の民事公益訴訟における檢察機關の位置付け およびその行方	徐 文 海	668
龍谷大学大学院法学研究 二六 (二〇・四・八)	冷戦期の台湾をめぐる米中対立のエスカレーション 回避の分析 ― 第1次台湾海峡危機を対象に ―	内 山 杏 カ タ リ ナ 瞳	680
歴史学会 史潮 九六 (二〇・四・一一)	水利から観光へ ― 中国・杭州の西湖管理における近代と自然開発	小 田 章	五一
早稲田大学比較法研究所 比較法学 五八・一 (二〇・四・六)	海上犯罪に対する台湾刑法の適用について	葉 雲 虎 ／ 河 村 有 訳	690
早稲田大学比較法研究所 比較法学 五八・二 (二〇・四・一一)	危険の現実化説の中国への適用可能性について	北 川 佳 世 子 潤 芝	697
早稲田大学法学会 早稲田法学 九九・三 (二〇・四・五)	監督・管理者の刑事責任の問い方 ― 公共安全事 故処罰の日中比較を手がかりとして ―	北 川 佳 世 子 潤 芝	707
	中国憲法3条4項の解釈論の展開	洪 驥	717

中国関係論説資料 第66号

収 録 論 文 一 覧

2026年 2月28日発行

東京都板橋区向原3-10-2

論 説 資 料 保 存 会

代表者 常 盤 浩 行

中国関係論説資料 第66号 発行日

第1分冊 2025年11月30日

第2分冊 2025年12月31日

第3分冊 2026年 1 月31日

第4分冊 2026年 2 月28日